

事業実施報告書

平成19年度

2007

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

財団法人 日本水泳連盟

平成 19 年度 事業報告

< 所信 >

日ごとに“スポーツの祭典”オリンピックムードが高まってまいりました。いよいよあと2ヶ月余りで北京オリンピックを迎えますが、世界の多くの人達から歓迎されるべき聖火リレーが、各地で混乱を来たしたのは誠に残念でなりません。政治がオリンピックを動かすのではなく、願わくはオリンピックが世界平和のために、政治を動かすようであって欲しいと思います。

さて、平成 19(2007)年度における当連盟の事業推進を顧みますと、その経緯は都度評議員会において報告してまいりましたが、各加盟団体はじめ関係各位の絶大なご支援ご協力によりまして、滞りなく終結することができました。

特に競技力向上事業は、各国際大会で努力の成果を示しながらオリンピックの前年として前進してまいりました。なかでも千葉で開催した「世界競泳 2007」は、“競泳ニッポン”にとって大きな自信となったばかりでなく、大会を成功裡に納めた実績は、大会の運営力とともに日本水泳界の歴史を飾る大きな収穫でありました。

また競技運営事業につきましても、主要競技会は各主管団体の格別なご尽力により、それぞれ盛会に終了することができました。

その他の事業につきましても、諸々の課題を残しながらも関係者のご理解ご協力により、年度計画の目標をほぼ達成することができました。

ここに、改めてご尽力いただいた多くの皆様に心から感謝し、お礼を申し上げる次第であります。

平成 20(2008)年度は、北京オリンピックの年として“水泳ニッポン”の真価が問われる正念場であります。「北京で最大の成果を挙げるために万全を尽すと共に、次のロンドンへの展望を開く」ことを方針に定めスタートを切りました。すでに競泳の他、飛込およびシンクロの代表選手を選出し、現在更なるパワーアップの鍛錬と、肝心の北京で如何に力を出し切るかの課題克服に励んでいる所であります。

また本年は、特に5月に「FINA 男子水球ワールドリーグ 2008」アジア・オセアニア ラウンド(東京)の開催・運営と、来年1月にグアムでの「ジュニアパンパシフィック大会」の主管をいたしますが、これら国際大会には、万全の体制で臨む予定であります。さらに本年度の主要競技会スケジュールの山場もこれからであり、各大会の関係者には引続きよろしくご支援ご協力の程お願い申し上げます。

その他事業全般において、難題を多く抱えておりますが、総力を結集し鋭意努力してまいります。その経緯と詳細につきましては、下期に予定しております地域会議等で説明できるように考えております。

ここに加盟団体をはじめ関係各位の皆様には、一層のご理解とご支援ご協力をお願い致します。

平成 20 年 5 月 25 日

会長 林 利博

1. J O C 事 業

(寄附行為第4条 - 5)

(1) 第24回ユニバーシアード競技大会

期間・場所 8月 8日～18日 タイ・バンコク

競技種目・日程

- (ア) 競泳 8月11日～17日
 (イ) 飛込 8月13日～18日
 (ウ) 水球 8月12日～17日

選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
競泳	12	20	16	36	48
飛込	2	1	3	4	6
水球	3	13	-	13	16
合計	17	34	19	53	70

本部 監督 山重 美登士
 ドクター 渡部 厚一

【競泳】

役員 ヘッドコーチ 金子 洋明
 コーチ 田中 孝夫 高橋 繁浩 高橋 雄介 小島 竜司
 " 神田 忠彦 加藤 健志
 トレーナー 八木 茂典 地神 裕史 伴田 吉彦
 選手 男子 岸田 真幸 山元 啓照 松野 圭介 奥村 幸大
 物延 靖記 山田 裕一 土岐 健一 古賀 淳也
 宮下 純一 山口 雅文 中野 高 崎本 浩成
 未永 雄太 川越 大樹 北本 拓也 富山 貴士
 高本 翔太 坂田 龍亮 高桑 健 奥出 泰史
 女子 岩崎 優 浦部 紀衣 福地 尚美 高鍋 絵美
 米永 智香 寺川 綾 田部井恵理 五十嵐貴美
 三輪 芳美 田村菜々香 北川 麻美 金藤 理絵
 加藤 ゆか 押味 正恵 飯窪 麻未 藤野 舞子

【飛込】

役員 コーチ 松本 行夫 内藤 英樹
 選手 男子 岡本 優
 女子 中川 真依 渋沢小哉芳 山下 美沙子

【水球】

役員 ヘッドコーチ 原 朗
 コーチ 当麻 成人 神田 久輝
 選手 男子 大島 仁 木村 俊介 原口 泰博 伊禮 寛
 染谷 将利 柳瀬 浩喜 柚木 斉 中村 友哉
 志賀 諭 松本 宗 西村 尚史 柳瀬 彰良
 若松 弘樹

【帯同審判員】

飛込
水球

伊藤 正明
牧田 和彦

湯浅よしの

成績(月刊水泳9月号 vol.374)

(ア) 競 泳

	男子	種目1	予選	決勝	順位	備考	種目2	予選	決勝	順位	備考
1	岸田 真幸	50m自由形	22.86	22.95	7位						
2	古賀 淳也	50m自由形	23.34		22位		50m背泳ぎ	25.54	0:25.43	2位	
3	奥村 幸大	100m自由形	0:50.36	0:50.44	12位		200m自由形	1:50.08	1:50.07	9位	
4	山元 啓照	100m自由形	0:50.76		22位						
5	物部 靖記	200m自由形	1:52.05		20位		400m自由形	03:51.80	03:56.38	8位	予選ベスト
6	山田 裕一	400m自由形	03:54.70	03:54.49	11位		800m自由形	8:12.79		15位	
7	土岐 健一	800m自由形	8:11.64		13位		1500m自由形	15:37.62		11位	
8	宮下 純一	50m背泳ぎ	25.59	0:25.57	4位	ベスト	100m背泳ぎ	0:55.08	0:54.94	5位	
9	山口 雅文	100m背泳ぎ	0:54.99	00:54.87	4位		200m背泳ぎ	2:00.09	2:01.32	8位	
10	中野 高	200m背泳ぎ	1:58.93	1:58.14	2位						
11	崎本 浩成	50m平泳ぎ	28.52	28.42	10位		100m平泳ぎ	1:02.04	1:01.66	5位	ベスト
12	川越 大樹	50m平泳ぎ	29.60		29位		200m平泳ぎ	2:15.27	2:17.10	14位	
13	末永 雄太	100m平泳ぎ	1:02.26	1:01.94	8位		200m平泳ぎ	2:14.20	2:13.63	5位	
14	北本 拓也	50mハタフライ	0:24.23	0:24.12	6位						
15	坂田 龍亮	200mハタフライ	1:57.12	1:55.92	優勝	ベスト 大会新記録					
16	富山 貴士	50mハタフライ	0:24.71	0:24.38	12位		100mハタフライ	0:53.37	0:52.97	2位	ベスト
17	高本 翔太	100mハタフライ	0:53.93	0:54.09	16位		200mハタフライ	1:59.18	1:59.82	8位	
18	高桑 健	200m個人メドレー	02:01.58	02:00.09	2位						
19	奥出 泰史	200m個人メドレー	02:03.88		18位		400m個人メドレー	04:23.75	04:27.63	8位	
20	松野 圭介	400mリレー					800m自由形				
	日本	400mリレー	3:21.92		9位	山元・奥村・松野・岸田					
	日本	800mリレー	7:20.70	7:22.49	7位	奥村・松野・山田・物延					
	日本	400mメドレーリレー	3:40.03	3:38.77	4位	山口・崎本・富山・奥村					
	女子	種目1	予選	決勝	順位	備考	種目2	予選	決勝	順位	備考
1	岩崎 優	50m自由形	0:26.34		17位		100m自由形	56.98		18位	
2	福地 尚美	50m自由形	0:26.65		26位		100m自由形				
3	浦部 紀衣	100m自由形	0:56.87	0:56.77	14位		200m自由形	2:02.79	2:03.07	12位	
4	高鍋 絵美	200m自由形	2:01.72	2:03.38	14位		400m自由形				
5	米永 智香	400m自由形	04:17.26	04:17.18	10位		800m自由形		8:42.97	7位	
							1500m自由形		16:27.85	2位	ベスト
6	寺川 綾	50m背泳ぎ	28.92	28.61	優勝	大会新記録	100m背泳ぎ	1:02.25	1:01.50	優勝	
							200m背泳ぎ	2:14.63	2:13.22	6位	
7	田部井 恵理	50m背泳ぎ	29.50	29.28	6位		100m背泳ぎ	棄権			
8	五十嵐 貴美	200m背泳ぎ	2:12.33	2:12.04	3位						
9	三輪 芳美	50m平泳ぎ	32.70	33.29	16位						
10	田村 菜々香	50m平泳ぎ	31.94	31.78	3位	ベスト	100m平泳ぎ	1:09.14	1:08.33	優勝	ベスト
							200m平泳ぎ	02:27.46	02:26.61	5位	
11	金藤 理絵	200m平泳ぎ	02:25.79	02:25.63	2位	ベスト					
12	北川 麻美	200m個人メドレー	2:16.63	2:15.26	7位		100m平泳ぎ	1:09.24	1:08.91	5位	
13	加藤 ゆか	50mハタフライ	27.00	26.82	2位		100mハタフライ	1:00.15	0:59.60	9位	
14	押味 正恵	50mハタフライ	27.38	26.82	2位	ベスト	100mハタフライ	0:59.80	1:00.11	8位	

(イ) 飛込

男子	3m 飛板飛込	岡本 優	6位
女子	3m 飛板飛込	渋沢小哉芳	6位
	高飛込	中川 真依	3位
		渋沢小哉芳	19位
		山下 美沙子	20位
	3m シンクロ飛板飛込	渋沢・山下	4位
	シンクロ高飛込	山下・中川	3位

(ウ) 水球

【予選リーグ】	日本 5-7 セルビア	日本 8-9 イギリス
	日本 12-5 南アフリカ	
【決勝トーナメント】	日本 7-4 ロシア	日本 14-7 オーストラリア
	日本 6-11 ハンガリー	日本 6-15 セルビア

最終順位	1位 モンテネグロ	2位 イタリア
	3位 ハンガリー	4位 スペイン
	5位 セルビア	6位 日本
	7位 フランス	8位 オーストラリア
	9位 トルコ	10位 カザフスタン
	11位 イギリス	12位 ロシア
	13位 中国	14位 南アフリカ
	15位 タイ	

2. 特 別 事 業

(寄附行為第4条-5)

(1) 世界競泳2007

期間・場所 8月21日 ~ 8月24日 千葉県国際総合水泳場

競技種目・日程

(ア) 競 泳 8月21日 ~ 8月24日

選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
競 泳	19	27	23	50	69

役員 団長 佐野 和夫
監督 上野 広治

	ヘッドコーチ	鈴木 陽二			
	コーチ	田中 孝夫	平井 伯昌		
	ドクター	園田 昌毅			
	総務	村松さやか			
	トレーナー	小沢 邦彦	広橋 憲子	黄海 匡士	桑井 太陽
	"	栗田 英行	加藤 明生	浦辺 幸夫	半田 貴子
	シャペロン	伊藤 美穂	中島 聖子		
	レース分析	若吉 浩二	岩原 文彦		
選手	男子	伊藤 真	岸田 真幸	佐藤 久佳	細川 大輔
		小島 貴光	奥村 幸大	物延 靖記	葛原 俊輔
松田 丈志		櫻井 裕司	土岐 健一	園中 良次	
森田 智己		宮下 純一	入江 陵介	北島 康介	
崎本 浩成		立石 諒	柴田 隆一	高安 亮	
山本 貴司		高本 翔太	坂田 龍亮	高桑 健	
森 隆弘		奥出 泰史	吉井 純		
女子		山田 香	岩崎 優	浦部 紀衣	三田 真希
		上田 春佳	田井中千加	高鍋 絵美	柴田 亜衣
		矢野 友理江	中村 礼子	伊藤 華英	寺川 綾
	田村菜々香	種田 恵	北川 麻美	金藤 理絵	
	加藤 ゆか	土肥 亜也子	中西 悠子	秋山 夏希	
	赤木裕加子	藤野 舞子	中村 咲子		

成績績(月刊水泳9月号 vol.374)

1. 競 泳

男子

氏名	種目	予選	順位	決勝	順位	備考
伊藤真	50m 自由形	22.95	5 位	22.90	7 位	
	100m 自由形	50.54	16 位	50.74	13 位	
岸田真幸	50m 自由形	23.46	12 位			
	100m 自由形	51.52	32 位			
	100m バタフライ	53.70	9 位			
佐藤久佳	50m 自由形	23.11	9 位	22.94	8 位	自己ベスト
	100m 自由形	49.22	2 位	49.81	5 位	
	200m 自由形	1:49.74	5 位	1:49.91	10 位	
細川大輔	50m 自由形	23.36	11 位	23.20	11 位	
	100m 自由形	49.93	10 位	49.98	6 位	
	200m 自由形	1:49.22	3 位	1:49.33	5 位	
小島貴光	50m 自由形	23.66	20 位			
	100m 自由形	51.09	24 位			
	200m 自由形	1:51.37	17 位			
奥村幸大	100m 自由形	50.71	21 位			
	200m 自由形	1:49.74	5 位	1:49.91	7 位	
物延靖記	200m 自由形	1:50.76	13 位			
	400m 自由形	3:52.03	10 位	3:54.41	12 位	

葛原俊輔	100m 自由形	51.36	30 位		
	200m 自由形	1:51.30	16 位		
	400m 自由形	3:58.45	18 位		
櫻井裕司	100m 自由形	51.70	34 位		
	200m 自由形	1:51.16	15 位		
	400m 自由形	3:54.66	16 位	3:57.22	15 位
土岐健一	400m 自由形	3:58.62	19 位		
	1500m 自由形	タイムレース		15:51.19	12 位
園中良次	400m 自由形	4:00.14	22 位		
	1500m 自由形	タイムレース		15:33.00	10 位
松田丈志	400m 自由形	3:51.29	7 位	3:54.78	7 位
	1500m 自由形	タイムレース		15:12.06	7 位
	100m バタフライ	54.21	14 位		
	200m バタフライ	1:56.38	2 位	1:57.03	7 位
森田智己	100m 背泳ぎ	54.51	5 位	54.13	3 位
	200m 背泳ぎ	1:59.00	2 位	1:58.32	2 位 自己ベスト
宮下純一	100m 背泳ぎ	54.94	8 位	55.15	6 位
	200m 背泳ぎ	2:03.90	15 位	2:02.24	10 位
入江陵介	100m 背泳ぎ	54.97	9 位	54.74	10 位 自己ベスト 高校新
	200m 背泳ぎ	1:59.70	6 位	1:57.30	1 位 自己ベスト 高校新
北島康介	100m 平泳ぎ	1:00.05	1 位	59.74	1 位
	200m 平泳ぎ	2:11.38	1 位	2:10.02	1 位
崎本浩成	100m 平泳ぎ	1:02.53	13 位	1:02.24	13 位
	200m 平泳ぎ	2:19.18	19 位		
立石諒	100m 平泳ぎ	1:02.21	10 位	1:01.83	10 位 自己ベスト
	200m 平泳ぎ	2:14.44	9 位	2:12.84	9 位
高安亮	100m バタフライ	52.77	2 位	52.84	4 位
柴田隆一	100m バタフライ	53.39	5 位	53.57	10 位
	200m バタフライ	1:55.66	1 位	1:54.99	2 位 自己ベスト
	200m 自由形	1:52.86	26 位		
	400m 個人メドレ	4:28.68	14 位		
山本貴司	100m バタフライ	53.01	4 位	52.50	1 位
	200m バタフライ	1:56.73	3 位	1:57.02	9 位
高本翔太	100m バタフライ	54.43	18 位		
	200m バタフライ	2:00.19	16 位		
坂田龍亮	100m バタフライ	55.61	28 位		
	200m バタフライ	1:57.88	8 位		
高桑健	100m 自由形	51.28	29 位		
	200m 個人メドレ	2:01.92	4 位	2:00.94	3 位
森隆弘	200m 個人メドレ	2:01.70	3 位	2:01.95	6 位
	400m 個人メドレ	4:19.18	4 位	4:18.65	3 位
	200m 個人メドレ	2:02.56	8 位		
奥出泰史	400m 個人メドレ	4:27.47	13 位	4:27.59	11 位
	200m 個人メドレ	2:02.38	6 位	2:02.49	9 位
吉井純	400m 個人メドレ	4:19.59	5 位	4:20.83	6 位
	日本	400m メドレ-リ-		3:33.35	1 位 日本新
日本 B	400m メドレ-リ-			3:37.05	
					森田智己 54.00 北島康介 59.14 高安 亮 52.27 佐藤久佳 47.94 宮下純一 54.58 立石諒 01.24

						山本貴司	52.18
						細川大輔	49.05
日本	400m リ-			3:18.38	2位	細川大輔	50.05
						伊藤真	49.65
					日本新	小島貴光	50.01
						佐藤久佳	48.67
日本B	400m リ-			3:21.33		奥村幸大	50.42
						櫻井裕司	50.46
						岸田真幸	50.53
						葛原俊輔	49.92
日本	800m リ-			7:14.98	2位	奥村幸大	1:48.93
						物延靖記	1:48.56
						葛原俊輔	1:49.21
						細川大輔	1:48.28
日本B	800m リ-			7:17.70		松田丈志	1:48.86
						櫻井裕司	1:49.57
						小島貴光	1:50.44
						佐藤久佳	1:48.83

女子						
氏名	種目	予選	順位	決勝	順位	備考
山田香	50m 自由形	26.14	8位	25.81	8位	自己ベスト
	100m 自由形	56.39	14位	56.83	14位	
岩崎優	50m 自由形	26.36	11位	26.09	11位	自己ベストタイ
	100m 自由形	56.58	15位	56.99	15位	
浦部紀衣	100m 自由形	57.02	24位			
	200m 自由形	2:02.69	21位			
三田真希	100m 自由形	56.36	13位	56.54	12位	
	200m 自由形	2:00.89	6位	2:00.39	7位	
上田春佳	100m 自由形	57.47	31位			
	200m 自由形	2:02.47	19位			
高鍋絵美	100m 自由形	57.30	28位			
	200m 自由形	2:03.74	28位			
田井中千加	200m 自由形	2:03.27	26位			
	400m 自由形	4:16.16	18位	4:17.17	15位	
柴田亜衣	400m 自由形	4:09.82	3位	4:07.68	4位	
	800m 自由形	タイムレース		8:23.76	1位	自己ベスト
矢野友理江	800m 自由形	タイムレース		8:27.62	2位	自己ベスト
	200m バタフライ		DSQ			
中村礼子	100m 背泳ぎ	1:00.34	1位	1:00.58	2位	
	200m 背泳ぎ	2:12.19	4位	2:09.91	3位	
伊藤華英	100m 背泳ぎ	1:01.35	5位	1:00.97	4位	
	200m 背泳ぎ	2:12.68	6位	2:11.31	4位	
寺川綾	100m 背泳ぎ	1:02.34	11位	1:01.99	11位	
田村菜々香	100m 平泳ぎ	1:07.95	4位	1:08.10	4位	
	200m 平泳ぎ	2:25.82	4位	2:25.05	3位	
種田恵	100m 平泳ぎ	1:10.01	12位			
		1:10.14		金藤とスイムオフの結果予選落ち		

	200m 平泳ぎ	2:25.62	3 位	2:25.45	4 位	
金藤理絵	100m 平泳ぎ	1:10.01	12 位	1:10.51	10 位	
		1:09.63		種田とスイムオフの結果 B 決勝へ		
	200m 平泳ぎ	2:27.59	5 位	2:27.65	9 位	
北川麻美	100m 平泳ぎ	1:09.99	11 位	1:09.54	8 位	
	200m 平泳ぎ	2:29.41	8 位			
	200m 個人メドレ	2:16.58	9 位	2:16.50	12 位	
加藤ゆか	100m バタフライ	59.38	5 位	58.80	6 位	
土肥亜也子	100m バタフライ	1:00.15	17 位	59.47	10 位	
中西悠子	100m バタフライ	59.93	14 位	59.94	15 位	
	200m バタフライ	2:08.08	3 位	2:07.65	5 位	
秋山夏希	100m バタフライ	1:00.22	18 位			
	200m バタフライ	2:08.36	4 位	2:08.94	7 位	
赤木裕加子	200m 平泳ぎ	2:35.54	21 位			
	200m 個人メドレ	2:18.66	21 位			
	400m 個人メドレ	4:50.68	13 位	4:54.05	14 位	
藤野舞子	200m 個人メドレ	2:16.93	12 位	2:16.04	10 位	
	400m 個人メドレ	4:45.25	5 位	4:43.93	6 位	
中村咲子	200m 自由形	2:03.20	25 位			
	200m 個人メドレ	2:16.55	8 位	2:16.82	8 位	
	400m 個人メドレ	4:47.58	8 位	4:49.62	8 位	
日 本	400m メドレ-リレ-			4:01.94	3 位	中村礼子 1:00.49 田村菜々香 1:07.74 加藤ゆか 57.75 三田真希 55.96
日 本 B	400m メドレ-リレ-			4:05.01		伊藤華英 1:01.30 北川麻美 1:08.81 土肥亜也子 59.15 山田 香 55.75
日 本	400m リレ-			3:44.59	5 位	山田香 56.61 岩崎優 55.88 上田春佳 56.43 浦部紀衣 55.67
日 本	800m リレ-			8:06.89	5 位	田井中千加 2:02.50 浦部紀衣 2:01.60 高鍋絵美 2:01.30 上田春佳 2:01.49

3. 競技力向上事業

(寄附行為第4条-5)

1. 競泳

競泳委員長 上野 広治

平成19年度事業は、4月の日本選手権で代表が選ばれ、計画通り8月の『世界競泳2007インジャパン』が千葉県習志野市(50名参加)で開催された。北京を前年に日本の競技力の真価が問われる年であったが、国内での国際大会で期待に応えてくれ中身のある年にできた。

国際競技会参加競技力強化は、ヨーロッパ・グランプリサーキット(6月)、ジュニア・アメリカ遠征(6月)、ジュニア・オーストラリア遠征(2月)、ジュニア・ニュージーランド遠征(3月)に派遣した。(本年度はFINAワールドカップ大会は中止)

強化合宿競技力強化は、オリンピックに向けた強化合宿を11月・12月・1月・2月と4回、さらにオリンピックにフリーレーの派遣を実現させるため、12月に自由形強化合宿を実施した。また、中・高生を中心に12月にオリンピック準強化合宿(中学生は三重・高校生は鈴鹿)、さらにブロック合宿(全国10ブロック)を実施し、競技力向上を目指した。

平成20年度事業は、すでにスタートし、先の日本選手権で北京オリンピック代表が31名選ばれスタートを切った。7月ジュニア世界選手権(メキシコ)、8月のオリンピックと重要な大会が開催される。4年間の集大成と2012年ロンドン対策に向けて日本の総力を結集し取り組みたい。

(1) 国際競技会

ヨーロッパサーキット遠征	6月2日～19日
(ア) フランス・カネ	6月9日・10日
(イ) スペイン・バルセロナ	6月13日・14日
(ウ) モンテカルロ・モナコ	6月16日・17日
ヘッドコーチ	鈴木 陽二
女子	植田 富裕美 *自費参加 男子10名・女子5名

成績(月刊水泳 7月号 Vol.372)

カネ canet

氏名	種目	予選	決勝	備考
伊藤 真	50FR	:23.39	:23.27	B3
	100FR	:50.80	:51.14	B3
佐藤 久佳	50FR	:23.92		
	100FR	:50.97	:51.45	B6
	200FR	01:52.6		
細川 大輔	50FR	:23.84		
	100FR	:50.97	:51.09	B2
	200FR	01:50.4	01:50.3	6位
櫻井 裕司	100FR	:53.75		
	200FR	01:53.2		
	400FR	03:57.1	03:57.9	8位
松田 丈志	200FLY	02:00.9	01:57.6	2位
	800FR	タイム決勝	07:58.1	3位
	100FLY	:54.54	:55.09	8位

森田 智己	50BA			棄権
	100BA	:56.41	:55.36	優勝
	200BA			棄権
山口 雅文	100BA	:56.23	:55.95	5位
	200BA	02:03.4	02:02.3	5位
中野 高	100BA	:56.90	:56.43	7位
	200BA	02:03.0	02:01.8	4位
北島 康介	50BR	:28.45	:28.27	2位
	100BR	01:02.8	01:01.1	優勝
	200BR	02:15.8	02:13.0	優勝
	200IM	02:05.4		失格
柴田 隆一	100FLY	:54.70	:53.83	4位
	200FLY	02:00.3	01:56.8	優勝
植田 富祐美	50FR	:26.73	:26.58	B5
	100FR	:57.91		ベスト
上田 春佳	100FR	:57.93		
	200FR	02:03.8	02:04.4	B7
	400FR	04:19.8	04:18.7	4位
中村 礼子	50BA	:29.35	:28.89	2位
	100BA	01:02.3	01:01.5	優勝
	200BA	02:18.3	02:10.7	優勝
寺川 綾	50BA	:29.26	:28.98	4位
	100BA	01:03.0	01:02.3	4位
伊藤 華英	50BA	:28.48	:29.30	5位
	100BA	01:02.6	01:02.8	6位
	200BA	02:13.8	02:11.0	2位
中村 咲子	800FR	タイム決勝	08:53.8	8位ベスト
	200FLY	02:20.2	02:19.1	B3
	200IM	02:21.3	02:22.7	B5

バルセロナ Barcelona

氏名	種目	予選	決勝	備考
伊藤 真	50FR	:23.63		
	100FR	:51.22		
佐藤 久佳	50FR	:23.74		
	100FR	:50.54	:50.55	7位
	200FR	01:51.7	01:51.0	B1
細川 大輔	50FR	:23.85		
	100FR	:51.08		
	200FR	01:50.9	01:51.3	6位
櫻井 裕司	100FR	:53.36		
	200FR	01:54.4		
	400FR	04:01.5	03:59.8	B4
松田 丈志	200FLY	02:01.1	01:59.0	5位
	1500FR	タイム決勝	15:09.4	3位
森田 智己	50BA	:26.02	:25.86	3位
	100BA	:56.02	:54.70	優勝・大会新
	200BA			棄権

山口 雅文	100BA	:56.54	:55.89	5位
	200BA			失格
中野 高	100BA	:56.93	:56.64	8位
	200BA	02:02.5	02:00.3	3位
北島 康介	50BR	:28.36	:28.44	3位
	100BR	01:02.7	01:01.0	優勝
	200BR	02:16.0	02:12.8	優勝
柴田 隆一	100FLY	:54.99	:54.79	B4
	200FLY	02:00.6	01:57.8	2位
植田 富祐美	50FR	:27.09		
	100FR	:57.64	:57.53	B3 ベスト
上田 春佳	100FR	:58.68		
	200FR	02:02.8	02:02.8	B4
	400FR	04:19.0	04:21.6	7位
中村 礼子	50BA	:29.06	:28.85	3位
	100BA			棄権
	200BA	02:13.0	02:13.4	3位
寺川 綾	100BA			棄権
	200BA	02:16.4	02:15.4	5位
伊藤 華英	50BA	:29.57	:29.39	6位
	100BA	01:02.7	01:01.5	2位
	200BA	02:12.5	02:11.3	優勝
中村 咲子	200IM	02:20.3	02:19.9	6位
	400IM	04:58.9	04:52.2	B2
	200FR	02:04.7	02:05.0	B7

モナコ monaco

氏名	種目	予選	決勝	3回戦	4回戦	5回戦	備考
伊藤 真	50FR	:23.40	:23.29	:22.94			
佐藤 久佳	50FR	:23.49	:23.51				
	100FR	:50.77	:50.44				B1
細川 大輔	50FR	:23.46	:23.32				
	100FR	:51.01	:50.73				B2
	200FR	01:50.6	01:51.5				B8
櫻井 裕司	200FR	01:53.4					
	400FR	タイム決勝	03:57.6				10位
松田 丈志	200FLY	02:00.8	01:57.0				優勝
	100FLY						棄権
	400FR	タイム決勝	03:50.4				3位
	200FR	01:51.3	01:51.1				B7
森田 智己	50BA	:27.61	:26.30	:26.12			
	100BA	:56.25	:54.77				優勝・大会新
	200BA	02:03.7	01:59.9				優勝
山口 雅文	50BA	:26.51	:26.51	:25.88	:25.89		4位
	100BA	:56.74	:55.64				4位
中野 高	100BA	:56.50	:56.26				6位
	200BA	02:02.9	02:00.5				2位
北島 康介	50BR	:29.02	:28.40	:28.39	:28.12	:28.09	2位
	100BR	01:03.0	01:00.9				優勝・大会新
	200BR	02:16.7	02:13.1				優勝

柴田 隆一	200FR	01:56.0					
	200IM	02:06.1	02:05.0				4位
植田 富祐美	50FR	:26.41	:26.45				
	100FR	:58.39	:57.51				B6 ベスト
上田 春佳	200FR	02:02.4	02:02.4				7位
	400FR	タイム決勝	04:18.9				6位
中村 礼子	50BA	:30.32	:28.84	:28.64	:28.68	:28.54	2位
	100BA	01:02.6	01:01.1				優勝・大会新
	200BA	02:16.7	02:09.9				優勝・大会新
寺川 綾	50BA	:29.97	:29.30	:29.04			
	100BA						棄権
伊藤 華英	50BA	:29.53	:29.38	:28.94	:28.79		3位
	100BA	01:01.9	01:01.3				2位
	200BA	02:13.0	02:10.7				2位
中村 咲子	200IM	02:20.1	02:20.0				B3
	400IM	タイム決勝	04:50.9				8位

ジュニア・アメリカ遠征 6月20日～7月15日 アメリカ・スタンフォード・サンタクララ

ヘッドコーチ 加々美 芳秀

コーチ 小柳 隆行 堀井 利有司 河端 篤志

シャペロン 稲田 法子

男子 麻生 真稔 伊与部 嵩 中山 武久 小坂 悠真

堀畑 裕也

女子 山口 美咲 松本 弥生 小野 友愛 宮部 加奈子

野中 瑞姫 酒井 志穂 福田 智代 橋本 千佳

保坂 知世 上田 梨奈 加藤 和

成績(月刊水泳 7月号 Vol.372)

【スタンフォード -競技結果-】

男子					
氏名	参加種目	大会結果	順位	備考	
麻生 真稔	400 自由形	04:12.1	5		
	1500 自由形	15:58.3	3		
伊与部 嵩	100 自由形	:54.42	18	ベスト	
	200 自由形	01:58.3	5		
	100 背泳ぎ	:58.81	5		
	200 背泳ぎ	02:04.9	4		
中山 武久	100 バタフライ	:56.49	6		
	200 バタフライ	02:00.9	2		
小坂 悠真	400 自由形	04:08.3	4		
	200 個人メドレー	02:04.8	1		
	400 個人メドレー	04:29.3	2		
堀畑 裕也	200 個人メドレー	02:07.4	3	ベスト	
	400 個人メドレー	04:32.4	4		
女子					
氏名	参加種目	大会結果	順位	備考	
山口 美咲	50 自由形	:26.23	4		
	100 自由形	:56.55	8	ベスト	

松本 弥生	50 自由形	:26.86	8		
	100 自由形	:57.23	12		
小野 友愛	200 自由形	02:02.4	5		
	400 自由形	04:12.2	1	ベスト	
	800 自由形	08:39.2	1	ベスト	
宮部 加奈子	100 自由形	:59.49	28		
	200 自由形	02:04.1	13	ベスト	
	800 自由形	08:45.2	3	ベスト	
	200 バタフライ	02:15.9	3	ベスト	
	200 個人メドレー	02:27.7	11		
	400 個人メドレー	失格			
野中 瑞姫	400 自由形	04:27.3	9		
	800 自由形	08:55.4	4		
酒井 志穂	100 自由形	:58.60	21		
	200 自由形	02:05.0	14	ベスト	
	100 背泳ぎ	01:02.6	4		
	200 背泳ぎ	02:16.6	4		
福田 智代	100 背泳ぎ	01:02.4	2		
	200 背泳ぎ	02:12.1	2		
橋本 千佳	100 平泳ぎ	01:11.4	4		
	200 平泳ぎ	02:32.2	4		
保坂 知世	100 バタフライ	01:02.6	7		
	200 バタフライ	02:14.2	2		
上田 梨奈	200 個人メドレー	02:22.5	6		
	400 個人メドレー	05:09.0	5		
加藤 和	200 個人メドレー	02:17.0	1		
	400 個人メドレー	04:53.2	1		

【サンタクララ -競技結果-】

男子

氏 名	参加種目		記録	順位	備考
麻生 真稔	400 自由形	予選	04:05.2		
		決勝	04:04.0	C 決勝 6	
	800 自由形	タイム決勝	08:23.7	タイム決勝 7	
	1500 自由形	タイム決勝	16:20.6	タイム決勝 16	
伊与部 嵩	200 自由形	予選	01:57.6		
		決勝			
	100 背泳ぎ	予選	:59.01		
		決勝	:58.39	A 決勝 7	
	200 背泳ぎ	予選	02:03.6		
		決勝	02:01.9	A 決勝 4	
中山 武久	100 バタフライ	予選	:56.71		
		決勝			
	200 バタフライ	予選	02:00.9		
		決勝	02:01.6	A 決勝 5	
小坂 悠真	800 自由形	タイム決勝	08:20.5	タイム決勝 6	ベスト
	200 背泳ぎ	予選	02:09.4		
		決勝			
	100 平泳ぎ	予選	01:06.9		
		決勝			
	200 平泳ぎ	予選	02:30.9		
		決勝			
	100 バタフライ	予選	:56.39		

		決勝	:56.66	C 決勝 9	
	200 個人メドレー	予選	02:08.4		
		決勝	02:07.8	B 決勝 6	
	400 個人メドレー	予選	04:31.4		
		決勝	04:28.1	B 決勝 1	
堀畑 裕也	200 個人メドレー	予選	02:08.1		
		決勝	02:07.3	B 決勝 5	
	400 個人メドレー	予選	04:30.9		
		決勝	04:28.3	B 決勝 3	
100 バタフライ	予選	:58.18			
		決勝			
日本チーム	400 フリーリレー	タイム決勝	03:35.3	タイム決勝 13	
	800 フリーリレー	タイム決勝	07:44.8	タイム決勝 5	
	400 メドレーリレー	タイム決勝	03:52.2	タイム決勝 5	
女子					
氏 名	参加種目		記録	順位	備考1
山口 美咲	50 自由形	予選	:26.66		
		決勝	:26.32	B 決勝 2	
	100 自由形	予選	:57.16		
		決勝	:56.81	B 決勝 6	
200 個人メドレー	予選	02:17.1			
	決勝	02:16.0	A 決勝 6	ベスト	
松本 弥生	50 自由形	予選	:26.94		
		決勝	:26.95	C 決勝 6	
	100 自由形	予選	:57.45		
		決勝	:57.48	C 決勝 5	
200 自由形	予選	02:06.3			
	決勝				
小野 友愛	200 自由形	予選	02:04.8		
		決勝			
	400 自由形	予選	04:15.2		
		決勝	04:16.7	A 決勝 8	
800 自由形	タイム決勝	08:53.9	タイム決勝 15		
宮部 加奈子	200 自由形	予選	02:04.5		
		決勝	02:06.2	C 決勝 8	
	400 自由形	予選	04:14.0		ベスト
		決勝	04:13.1	A 決勝 3	ベスト
800 自由形	タイム決勝	08:42.4	タイム決勝 5	ベスト	
1500 自由形	タイム決勝	16:56.3	タイム決勝 10		
野中 瑞姫	400 自由形	予選	04:22.0		
		決勝	04:24.5	C 決勝 9	
	800 自由形	タイム決勝	08:51.0	タイム決勝 11	
	1500 自由形	タイム決勝	16:47.1	タイム決勝 4	ベスト
酒井 志穂	100 自由形	予選	:58.50		
		決勝			
	100 背泳ぎ	予選	01:02.3		
		決勝	01:01.8	A 決勝 1	
200 背泳ぎ	予選	02:16.8			
	決勝	02:14.1	A 決勝 4	ベスト	
福田 智代	100 背泳ぎ	予選	01:02.8		
		決勝	01:02.5	A 決勝 4	
	200 背泳ぎ	予選	02:12.8		

橋本 千佳	100 平泳ぎ	決勝	02:12.2	A 決勝 2	
		予選	01:12.3		
		決勝	01:11.2	A 決勝 6	
	200 平泳ぎ	予選	02:33.3		
		決勝	02:30.5	A 決勝 6	
	200 個人メドレー	予選	02:25.8		
決勝					
保坂 知世	100 バタフライ	予選	01:03.0		
		決勝			
	200 バタフライ	予選	02:16.9		
		決勝	02:16.0	B 決勝 3	
上田 梨奈	200 個人メドレー	予選	02:24.7		
		決勝			
	400 個人メドレー	予選	05:10.0		
		決勝			
	100 バタフライ	予選	01:04.4		
		決勝			
	100 背泳ぎ	予選	01:05.7		
		決勝	01:04.7	C 決勝 4	
100 自由形	予選	01:00.4			
	決勝				
加藤 和	200 個人メドレー	予選	02:19.1		
		決勝	02:15.4	A 決勝 5	ベスト
	400 個人メドレー	予選	04:50.6		
		決勝	04:46.1	A 決勝 5	ベスト
	100 バタフライ	予選	01:03.5		
		決勝			
日本チーム	400 フリーリレー	タイム決勝	03:49.9	タイム決勝 3	
	800 フリーリレー	タイム決勝	08:11.9	タイム決勝 3	
	400 メドレーリレー	タイム決勝	04:11.3	タイム決勝 3	

北京オープン大会 平成20年1月31日～2月5日 中国・北京

監督 上野 広治

ヘッドコーチ 金子 洋明

コーチ 八塚 明憲 竹村 吉昭 加藤 健志 伊藤 秀介

小島 竜司 神田 忠彦 豊田 康宏

総務 薩摩 将広

シャペロン 村松 さやか

男子 末永 雄太 立石 諒 坂田 龍亮 高本 翔太

高桑 健 佐野 秀匡

女子 田村 菜々香 種田 恵 加藤 ゆか 星 奈津美

成績(月刊水泳 2月号 Vol.379)

男子

氏名	種目	予選	順位	備考	決勝	順位	備考
末永雄太	100m 平泳ぎ	1:01.66	1位		1:02.10	2位	
	200m 平泳ぎ	2:15.47	4位		2:15.38	4位	

立石諒	100m 平泳ぎ	1:01.81	2位	自己ベスト	1:01.58	優勝	自己ベスト
	200m 平泳ぎ	2:13.89	1位		2:13.61	優勝	
高本翔太	100m バタフライ	54.43	6位		55.02	7位	
	200m バタフライ	2:01.08	5位		2:00.10	4位	
坂田龍亮	100m バタフライ	55.38	10位				
	200m バタフライ	1:58.47	1位		1:58.13	3位	
高桑健	200m 自由形	1:52.64	12位				
	200m 個人メドレ	棄権		体調不良			
佐野秀匡	200m 個人メドレ	2:01.68	1位		2:02.36	2位	
	400m 個人メドレ	4:20.96	1位		4:21.22	3位	

女子

氏名	種目	予選	順位	備考	決勝	順位	備考
田村菜々香	100m 平泳ぎ	1:10.35	6位		1:10.54	4位	
	200m 平泳ぎ	2:31.56	8位		2:30.48	6位	
種田恵	100m 平泳ぎ	1:10.66	5位		1:10.93	6位	
	200m 平泳ぎ	2:29.56	5位		2:29.35	4位	
加藤ゆか	100m バタフライ	58.99	1位		59.18	優勝	
星奈津美	100m バタフライ	1:00.29	4位		1:00.20	5位	自己ベスト
	200m バタフライ	2:07.35	1位	自己ベスト高校新	2:08.55	優勝	

参加国数: 36 参加選手数: 234

オーストラリア・ジュニア遠征 平成20年2月4日～20日 オーストラリア・シドニー

ヘッドコーチ 植竹 浩幸

コーチ 野元 良寛 前田 覚 石田 啓吾

総務 キャンプージ和加子

男子 小堀 勇気 尾崎 隆太 大山 圭祐 山崎 貴大

新山 政樹 加納 雅也 萩野 公介 鮫島 湊太

女子 鈴木 聖未 時枝 ゆり子 川除 結花 赤瀬 紗也香

浜野 麻綾 福留 景子 岡田 真由子 嘉陽 文香

成績

男子

氏名	種目	予選	順位	備考	決勝	順位	備考
小堀 勇気	100M 自由形	53.92	65位				
	200M 自由形	1:55.00	16位		1:53.15	14位	ベスト 中学新
	400M 自由形	4:06.17	21位				
	1500M 自由形	16:06.26	8位	ベスト			
	50M バタフライ	26.27	34位				
	100M バタフライ	55.86	9位	ベスト	55.28	9位	ベスト
尾崎 隆太	200M 自由形	1:58.23	38位				
	400M 自由形	4:14.97	38位				
	1500M 自由形	16:21.36	11位				
大山 圭祐	50M 背泳ぎ	27.22	10位	ベスト	27.00	8位	ベスト
	100M 背泳ぎ	57.62	7位		57.74	7位	
	200M 背泳ぎ	2:08.35	19位		2:05.98	16位	ベスト
山崎 貴大	100M 自由形	54.65	49位	ベスト			
	100M 背泳ぎ	58.25	8位		57.98	9位	

	200M 背泳ぎ	2:03.82	4 位		2:02.30	5 位	ベスト	中学新
	200M 個人メドレー	2:09.22	9 位					
新山 政樹	50M 平泳ぎ	30.69	9 位		30.42	9 位		
	100M 平泳ぎ	1:05.26	5 位		1:05.18	6 位		
	200M 平泳ぎ	2:19.18	2 位	ベスト	2:19.32	4 位		
加納 雅也	50M 平泳ぎ	30.26	6 位		30.25	7 位		
	100M 平泳ぎ	1:06.23	8 位		1:06.06	9 位		
	200M 平泳ぎ	2:27.13	8 位		2:25.84	9 位		
萩野 公介	400M 自由形	4:03.37	18 位	ベスト				
	50M 背泳ぎ	27.47	12 位		27.48	13 位		
	200M 背泳ぎ	2:08.73	20 位		2:07.97	18 位		
	200M 個人メドレー	2:08.46	6 位		2:12.58	10 位		
	400M 個人メドレー	4:33.29	4 位	ベスト	4:33.73	7 位		
鮫島 洸太	200M バタフライ	2:05.69	7 位	ベスト	2:04.76	6 位	ベスト	
	100M 平泳ぎ	1:07.79	13 位		1:07.73	15 位		
	200M 平泳ぎ	2:25.48	6 位		2:22.57	6 位		
	200M 個人メドレー	2:07.12	2 位	ベスト	2:06.42	3 位	ベスト	
	400M 個人メドレー	4:31.76	2 位		4:32.44	4 位		
日本	400m メドレーリレー				3:51.65	2 位	中学新	大山 圭祐 58.78 加納 雅也 05.31 小堀 勇気 54.66 山崎 貴大 52.90
日本	400m リレー				3:35.17	7 位		小堀 勇気 52.97 尾崎 隆太 27.41 萩野 公介 54.13 山崎 貴大 53.33
日本	800m リレー				7:44.26	2 位	中学新	小堀 勇気 1:54.94 尾崎 隆太 1:57.32 萩野 公介 1:56.16 山崎 貴大 1:55.84

女子

氏名	種目	予選	順位	備考	決勝	順位	備考
鈴木 聖未	50M 自由形	26.97	12 位		27.26	17 位	
	100M 自由形	58.28	15 位		58.84	19 位	
時枝ゆり子	50M 自由形	27.11	16 位		26.96	15 位	
	100M 自由形	59.21	25 位				
川除 結花	50M 背泳ぎ	31.15	16 位		31.02	13 位	ベスト
	100M 背泳ぎ	1:04.48	14 位		1:04.22	12 位	
	200M 背泳ぎ	2:13.97	2 位		2:12.63	2 位	ベスト
赤瀬紗也香	200M 自由形	2:14.39	54 位				
	50M 背泳ぎ	30.58	10 位	ベスト	30.60	7 位	ベスト
	100M 背泳ぎ	1:04.33	11 位		1:04.13	11 位	
	200M 背泳ぎ	2:17.62	8 位		2:19.52	10 位	
	50M バタフライ	30.17	38 位				
浜野 麻綾	50M 平泳ぎ	33.25	4 位	ベスト	33.26	5 位	ベスト
	100M 平泳ぎ	1:11.63	6 位		1:10.79	7 位	ベスト
	200M 平泳ぎ	2:32.56	2 位		2:30.35	5 位	ベスト
	200M 個人メドレー	2:24.34	14 位	ベスト	DSQ		
福留 景子	50M 平泳ぎ	34.08	8 位		33.74	7 位	
	100M 平泳ぎ	1:11.89	8 位	ベスト	1:10.94	8 位	ベスト

	200M 平泳ぎ	2:32.65	3 位		2:30.12	4 位	ベスト
岡田真由子	50M バタフライ	30.07	35 位				
	100M バタフライ	1:03.46	14 位		1:03.01	14 位	
	200M バタフライ	2:14.29	5 位		2:13.30	5 位	
	50M 平泳ぎ	34.45	10 位		34.58	9 位	
嘉陽 文香	100M 平泳ぎ	1:15.41	15 位		1:15.34	15 位	
	200M 平泳ぎ	DSQ					
	100M バタフライ	1:05.05	21 位				
	200M バタフライ	2:16.23	8 位		2:15.73	8 位	
	200M 個人メドレー	2:22.32	8 位		2:24.23	9 位	
	400M 個人メドレー	4:55.37	5 位		4:54.91	6 位	
日本	400m メドレー-リレー			4:16.38	1 位	赤瀬紗也香 1:05.19 浜野 麻綾 1:10.10 岡田真由子 1:02.04 鈴木 聖未 59.05	
日本	400m リレー			3:56.98	1 位	鈴木 聖未 58.32 時枝 ゆり子 57.43 赤瀬紗也香 1:00.56 浜野 麻綾 1:00.67	

ニュージーランドエージグループ選手権 3月4日～8日 ニュージーランド・クライストチャーチ

団長・監督 会田 忠秋

総務 キャンピージ和加子

ヘッドコーチ 鈴木 節朗

コーチ 今井 利樹 黒瀬 幹夫 梅原 孝之 藤田 信好

シャペロン 瀬水 麻衣

選手

男子 鈴木 貴翔 平井 彬嗣 工藤 優介 瀬戸 大也

下村 瞬希 刈本 天斗 奈良 享祐

女子 増田 愛美里 佐藤 未沙 狩野 理紗 今 涼音

小林 明日香 渡邊 有希子 渡辺 耶唯 亀森 美紀

菅野 史恵 伊藤 美織 秋山 遥奈 川上 真央

安永 愛 黒木 満佐子 市川 夏波 高瀬 綾香

嶋岡 奈央 瀬倉 未智

成績

男子

氏名	種目	予選	順位	備考	決勝	順位	備考
工藤 優介	50m 自由形	25.72	2 位				
	100m 自由形	55.81	1 位	ベスト	55.31	1 位	ベスト
	400m 自由形	4:26.33	7 位	ベスト			
	50m 背泳ぎ	27.43	1 位	ベスト	27.39	1 位	ベスト
	100m 背泳ぎ	59.57	1 位	ベスト	59.68	1 位	ベスト
	200m 背泳ぎ	2:12.75	1 位	ベスト	2:11.10	1 位	ベスト
	50m バタフライ	26.54	1 位	ベスト	26.85	1 位	ベスト
	100m バタフライ	59.64	1 位				

瀬戸 大也	400m自由形	4:14.71	1位	ベスト	4:11.00	1位	ベスト
	100mバタフライ	59.32	1位	ベスト			
	200m平泳ぎ	2:24.50	1位	ベスト	2:26.02	1位	
	200m個人メドレ	2:11.32	1位	ベスト	2:12.09	1位	
	400m個人メドレ	4:41.63	1位		4:40.20	1位	ベスト
平井 彬嗣	100m自由形	58.41	9位	ベスト			
	200m自由形	2:01.34	3位	ベスト			
	400m自由形	4:11.12	1位	ベスト	4:12.85	3位	ベスト
	1500m自由形	直接決勝					
	200m個人メドレ	2:16.90	1位	ベスト	2:16.44	3位	ベスト
	400m個人メドレ	4:52.25	2位	ベスト	失格		
下村 瞬希	100m自由形	56.17	2位	ベスト	55.97	4位	ベスト
	200m自由形	2:01.19	2位	ベスト	2:00.51	3位	ベスト
	400m自由形	4:17.61	3位				
	1500m自由形	直接決勝			16:42.60		ベスト
	200m個人メドレ	2:22.03	6位				
刈本 天斗	100m自由形	58.90	1位	ベスト	58.03	2位	ベスト
	50m平泳ぎ	31.86	1位	ベスト	31.70	1位	ベスト
	100m平泳ぎ	1:10.68	1位	ベスト			
	200m平泳ぎ	2:33.61	2位		2:30.88	2位	ベスト
	200m個人メドレ	2:20.81	2位	ベスト	2:20.24	2位	ベスト
奈良 享祐	50m自由形	24.00	1位				
	100m自由形	56.40	4位				
	200m自由形	2:03.84	5位	ベスト			
	50m背泳ぎ	29.81	4位	ベスト			
	100m背泳ぎ	1:04.58	3位	ベスト			
鈴木 貴翔	50m背泳ぎ	29.74	3位	ベスト	29.07	2位	ベスト
	100m背泳ぎ	1:02.50	2位	ベスト	1:02.58	3位	ベスト
	200m背泳ぎ	2:15.37	2位	ベスト	2:14.60	3位	ベスト
	100mバタフライ	1:05.65		ベスト			
	200m個人メドレ	2:24.99	8位				
	400m個人メドレ	5:02.27	4位	ベスト			
日本	200mメドレ-リ-	1:50.68	1位		1:51.92	3位	
日本	200mリ-	1:40.98	3位		1:41.02	3位	

女子

氏名	種目	予選	順位	備考	決勝	順位	備考
伊藤 美織	50m自由形	27.78	2位				
	100m自由形	58.83	1位		58.03	1位	ベスト
	200m自由形	2:06.44	1位		2:05.54	1位	
	400m自由形	4:29.06	3位	ベスト	4:23.24	2位	ベスト
	800m自由形	直接決勝			9:06.69	3位	ベスト
	50m背泳ぎ	31.06	3位				
	100m背泳ぎ	1:06.53	2位		1:06.85	2位	
	200m背泳ぎ	2:22.10	2位		2:21.10	2位	
	200m個人メドレ	2:28.67	7位	ベスト			
秋山 遥奈	100m背泳ぎ	1:16.45	28位	ベスト			
	100mバタフライ	1:10.51	6位				
	50平泳ぎ			棄権			
	200m個人メドレ	2:33.37	6位				
	400m個人メドレ				失格		

嶋岡 奈央	50m 平泳ぎ	34.49	2位	ベスト	34.36	2位	ベスト
	100m 平泳ぎ	1:14.33	1位	ベスト	1:13.51	1位	ベスト
	200m 平泳ぎ	2:35.08	1位	ベスト	2:34.53	1位	ベスト
	200m 個人メドレ	2:24.47	3位	ベスト			
瀬倉 未智	50m 自由形	27.92	3位	ベスト			
	100m 自由形	1:00.14	3位	ベスト			
	50m 背泳ぎ	30.90	2位		30.19	1位	ベスト
	100m 背泳ぎ	1:06.59	3位				
	200m 背泳ぎ	2:25.46	6位				
狩野 理紗	100m 自由形	1:01.78	6位				
	200m 自由形	2:10.61	5位				
	400m 自由形	4:32.70	6位				
	800m 自由形	直接決勝			9:24.04	6位	ベスト
	100m バタフライ	1:11.34	18位				
	200m 個人メドレ	2:29.92	9位				
	400m 個人メドレ	5:16.47	5位				
佐藤 未沙	800m 自由形	直接決勝			9:16.03	4位	ベスト
	50m 背泳ぎ	2:24.00	8位				
	100m 背泳ぎ	1:09.01	5位				
	200m 背泳ぎ	2:24.06	4位	ベスト			
	200m 個人メドレ	25.28	4位				
	400m 個人メドレ	5:09.61	3位		5:01.38	2位	
増田 愛美里	50m 自由形	28.29	5位				
	200m 自由形	2:07.46	2位		2:09.33	5位	
	400m 自由形	4:32.98	8位				
	800m 自由形	直接決勝			9:22.59	6位	
今 涼音	50m 背泳ぎ	33.62	11位				
	100m 背泳ぎ	1:08.70	3位	ベスト			
	200m 背泳ぎ	2:23.59	3位				
	100m 平泳ぎ	1:21.70	4位	ベスト			
	200m 平泳ぎ	2:56.50	9位	ベスト			
	200m 個人メドレ	2:32.57	4位				
	400m 個人メドレ	5:24.75	3位	ベスト	5:21.78	3位	ベスト
小林 明日香	50m 平泳ぎ	33.25	2位	ベスト	33.50	2位	ベスト
	100m 平泳ぎ	1:12.16	2位		1:11.53	1位	
	200m 平泳ぎ	2:35.12	2位	ベスト	2:33.84	2位	ベスト
	50m バタフライ	28.63	1位	ベスト	28.33	1位	ベスト
	200m 個人メドレ	2:22.49	2位	ベスト			
渡邊 有希子	50m 背泳ぎ	30.63	1位	ベスト	30.33	1位	ベスト
	100m 背泳ぎ	1:04.52	1位		1:03.89	1位	
	200m 背泳ぎ	2:19.86	1位		2:18.15	1位	
	200m 個人メドレ	2:24.85	1位				
渡邊 耶唯	200m 自由形	2:08.75	4位	ベスト			
	400m 自由形	4:28.41	4位	ベスト			
	50m バタフライ	28.99	2位	ベスト	28.83	2位	ベスト
	100m バタフライ	1:01.36	1位	ベスト	1:01.37	1位	ベスト
	200m バタフライ	2:15.92	1位	ベスト			
	200m 個人メドレ	2:21.51	1位	ベスト			
	400m 個人メドレ	4:56.26	2位	ベスト	失格		
亀森 美紀	50m 自由形	29.33	5位	ベスト			
	50m 背泳ぎ	31.82	3位				
	100m 背泳ぎ	1:06.51	2位		1:06.80	2位	

		200m 背泳ぎ	2:22.71	2 位		2:21.12	2 位	
菅野 史恵		50m 自由形	28.74	9 位				
		100m 自由形	1:00.30	3 位				
		200m 自由形	2:09.89	7 位				
		400m 自由形			棄権			
		100m バタフライ	1:06.69	8 位	ベスト			
		200m 個人メドレー	2:29.33	7 位				
安永 愛		50m 自由形	7:12.00	19 位	ベスト			
		100m 自由形	1:03.20	19 位	ベスト			
		50m 背泳ぎ	24:00.00	2 位		19:12.00	2 位	ベスト
		100m 背泳ぎ	1:06.16	1 位		1:04.54	1 位	ベスト
		200m 背泳ぎ	2:19.62	1 位		2:16.32	1 位	
		100m バタフライ	1:08.75	11 位				
		200m 個人メドレー	2:30.17	10 位	ベスト			
黒木 満佐子		50m 自由形	14:24.00	1 位	ベスト			
		100m 自由形	1:00.07	3 位		59.33	2 位	
		50m 背泳ぎ	43:12.00	1 位	ベスト	30.67	2 位	ベスト
		100m 背泳ぎ	1:05.93	1 位	ベスト	1:04.77	1 位	ベスト
		200m 背泳ぎ	2:21.01	1 位	ベスト	2:18.06	1 位	ベスト
		100m バタフライ	1:04.28	1 位	ベスト	1:02.14	1 位	ベスト
		200m 個人メドレー	2:24.13	2 位				
高瀬 綾香		100m 自由形	1:02.33	4 位	ベスト			
		400m 自由形	4:37.54	2 位	ベスト	4:37.71	3 位	ベスト
		50m 平泳ぎ	34.35	1 位		34.01	1 位	
		100m 平泳ぎ	1:14.56	1 位		1:14.49	1 位	
		200m 平泳ぎ	2:39.89	1 位		2:39.81	1 位	
		200m 個人メドレー	2:27.10	2 位	ベスト			
川上 真央		50m 自由形		2 位				
		100m 自由形	58.62	1 位		57.87	1 位	ベスト
		200m 自由形	2:12.89	2 位	ベスト	2:08.23	1 位	
		400m 自由形	4:39.03	3 位	ベスト			
		50m 背泳ぎ	31.30	2 位	ベスト	31.51	2 位	ベスト
		50m バタフライ	28.55	1 位		27.98	1 位	ベスト
		100m バタフライ	1:04.58	1 位	ベスト	1:01.92	1 位	ベスト
	200m バタフライ	2:34.72	3 位	ベスト				
市川 夏波		50m 自由形	27.26	1 位				
		100m 自由形	59.93	2 位		1:00.93	2 位	
		200m 自由形	2:15.52	3 位	ベスト			
		400m 自由形	4:43.00	4 位	ベスト			
		800m 自由形			直接決勝	9:56.86	9 位	ベスト
		50m 背泳ぎ	2:24.00	4 位	ベスト			
		50m バタフライ	31:42	6 位	ベスト	30.31	2 位	
日本	A	200m リレー	1:47.03	1 位		1:47.92	2 位	
日本	B	200m リレー	1:51.97	4 位				
日本	C	200m リレー	1:50.91	3 位				
日本	D	200m リレー	1:55.92	8 位				
日本	A	200m メドレーリレー	1:59.00	1 位		1:57.88	1 位	
日本	B	200m メドレーリレー	2:01.72	3 位				
日本	C	200m メドレーリレー	2:02.52	4 位				
日本	D	200m メドレーリレー	2:08.95	11 位				

第5回アジアエージ選手権	8月24日～9月1日	インドネシア・ジャカルタ		
監督	水野 功明			
コーチ	朝倉 正三	三浦 秀行		
トレーナー	大林 弘宗			
審判員	藤田 博			
選手				
男子	立花 一成	竹本 聡	小林 大輝	高山 大
	伊佐治 淳	内田 裕大	釘井 翔	中本 宗志
	米沢 太一	宇葉 昂平	久留 琢丸	市場 康平
女子	西田 有希	橋原 芽生	原 美波	神谷 明子
	中岡 洋子	菅原 紀子	藤本 華菜	内川 奈美

(2) 日韓スポーツ交流事業

海外合同合宿

(ア) 期間 11月5日～10日 6日間
(イ) 場所 韓国・ソウル
(ウ) 選手団

役員	監督	船田 昭介			
	コーチ	戸川 晴夫	石森 昌治	山田 清繁	
選手	男子	堀口 祐	吉村 寿人	右近 武蔵	高橋 良平
	"	多田 邦徳	外川 貴大		
	女子	鈴木 聖未	浜野 麻綾	秋山 遥奈	山田 神奈
		森 茉由	林 ヒョンジュ	重信 藤乃	竹内 麻佑
		大塚 美優	田口 珠恵		

国内合同合宿 6日間

(ア) 期間 12月7日～12日
(イ) 場所 埼玉県・朝霞市
(ウ) 選手団

役員	監督	船田 昭介			
	コーチ	戸川 晴夫	石森 昌治	山田 清繁	
選手	男子	堀口 祐	吉村 寿人	右近 武蔵	高橋 良平
	"	多田 邦徳	外川 貴大		
	女子	鈴木 聖未	浜野 麻綾	秋山 遥奈	山田 神奈
		森 茉由	林 ヒョンジュ	重信 藤乃	竹内 麻佑
		大塚 美優	田口 珠恵		

2. 飛込

飛込委員長 末弘 昭人

平成19年度上期事業では、5月に FINA グランプリ大会(カナダ・ヴィクトリア～アメリカ・フォートロダデー)、8月にユニバーシアード(タイ・バンコク)に選手団を派遣した他、9月には当初派遣が予定されていなかったワールドシリーズ(イギリス・シェフィールド / メキシコ・メキシコシティ / 中国・南京)に寺内を派遣、また、自費参加でアジアエージ選手権(インドネシア・ジャカルタ)にも選手団を派遣したが、4月に予定されていた FINA グランプリ大会(中国・珠海)は日程の都合から派遣を中止した。

FINA グランプリ大会は、前半戦のカナダ大会では苦戦をしたが、後半のアメリカ大会で中川が女子高飛込で4位入賞を果たしたほか、女子シンクロ種目は飛板飛込・高飛込ともカナダ会では5位、アメリカ大会では4位と安定して好位置につけた。ユニバーシアードでは4名の派遣で全員が3種目から4種目に出場するというハードな日程をこなし、中川が高飛込で3位、中川/山下のシンクロ高飛込でも3位と健闘、岡本優・渋沢小哉芳も3m 飛板飛込で6位入賞をするなど前回の大邱大会の実績を越え、目標を上回る結果を残した。

アジアエージ選手権では、皆初めての海外遠征でありながら良く健闘し、小林由佳が優勝を含めて3つのメダルを獲得した他、全員が入賞を成し遂げるという成果を挙げた。

世界選手権(メルボルン)の8位までが招待された第1回ワールドシリーズ(イギリス・シェフィールド / メキシコ・メキシコシティ / 中国・南京)に参戦した寺内選手は、表彰台を逃した事は残念だが、全ての大会に安定した演技を披露し、いずれも4位に入賞した。

下期事業では、2月にオリンピックへの最終選考がかかったワールドカップ(中国・北京)に6名の選手を派遣した。今回のワールドカップは、世界選手権メルボルン大会上位入賞者のほとんどが参加しており、オリンピック派遣条件の決勝進出はかなり高いハードルとなったが、それをクリアして複数の選手がオリンピック参加の必要条件を達成する事を目指した。しかし、中川が女子高飛込で6位に入賞し健闘した他、寺内は9位、それ以外の選手は予選または準決勝で敗退した結果、北京オリンピックへの派遣はアテネオリンピック同数の2名となり、残念ながらアテネを越えるという目標を達成する事はできなかった。

(1)国際競技会

FINA グランプリ カナダ大会・アメリカ大会

ヘッドコーチ	野村 孝路
コーチ	松本 行夫、内藤 英樹
トレーナー	田中 志保
選手 男子	岡本 優、村上 和基
女子	西井 亮子、宮崎 多紀理、山下 美沙子 中川 真依、渋沢 小哉芳
審判員	伊藤 正明(カナダ大会) 高橋 亜紀(カナダ大会・アメリカ大会)

カナダ大会 5月4日～6日 カナダ:ビクトリア

成績

男子	3m 飛板飛込	岡本 優	16位
	高飛込	村上 和基	17位
女子	3m 飛板飛込	西井 亮子	19位
		渋沢 小哉芳	22位
	高飛込	宮崎 多紀理	10位
		中川 真依	11位

3m シンクロ飛板飛込 渋沢 小哉芳 / 山下 美沙子 5位
 シンクロ高飛込 山下 美沙子 / 中川 真依 5位

アメリカ大会 5月10日～13日 アメリカ:フォートロダデール
 成 績

男子 3m 飛板飛込 岡本 優 11位
 高飛込 村上 和基 19位
 女子 3m 飛板飛込 西井 亮子 12位
 渋沢 小哉芳 22位
 高飛込 宮崎 多紀理 12位
 中川 真依 4位
 3m シンクロ飛板飛込 渋沢 小哉芳 / 山下 美沙子 4位
 シンクロ高飛込 山下 美沙子 / 中川 真依 4位

第1回 FINA ワールドシリーズ イギリス大会・メキシコ大会・中国大会

コ ー チ 馬淵 崇英

トレーナー 田中 志保

選手 男子 寺内 健

イギリス大会 9月1日～2日 イギリス:シェフィールド

成 績

男子 3m 飛板飛込 寺内 健 4位

メキシコ大会 9月7日～8日 メキシコ:メキシコシティ

成 績

男子 3m 飛板飛込 寺内 健 4位

中国大会 9月15日～16日 中国:南京

成 績

男子 3m 飛板飛込 寺内 健 4位

第5回アジア エージ選手権 8月7日～11日 インドネシア:ジャカルタ

コ ー チ 谷内 覚、毒島 泰士、内藤 未妃

選手 男子 山田 晋吾、大久保 貴明、小林 和真

中原 敬二、倉知 慧、後藤 福寿

女子 小林 由佳

審判員 村越 爽江

成 績

16歳 18歳

男子 1m 飛板飛込 小林 和真 8位 / 大久保 貴明 13位

3m 飛板飛込 小林 和真 6位 / 山田 晋吾 8位

高飛込 大久保 貴明 5位 / 山田 晋吾 10位

Open Category

男子 シンクロ高飛込 小林 和真 / 中原 敬二 5位

14歳 15歳					
男子	1m 飛板飛込	中原 敬二	6位		
	3m 飛板飛込	中原 敬二	5位 / 倉知 慧	8位	
	高飛込	倉知 慧	6位 / 中原 敬二	7位	
13歳 14歳					
男子	1m 飛板飛込	後藤 福寿	7位		
	3m 飛板飛込	後藤 福寿	8位		
	高飛込	後藤 福寿	8位		
女子	1m 飛板飛込	小林 由佳	2位		
	3m 飛板飛込	小林 由佳	2位		
	高飛込	小林 由佳	優勝		

第16回FINAワールドカップ 2月19日～24日 中国:北京

チームリーダー	末弘 昭人
ヘッドコーチ	馬淵 崇英
コーチ	野村 孝路、松本 行夫
トレーナー	田中 志保
選手 男子	寺内 健、岡本 優、村上 和基
女子	山下 美沙子、中川 真依、浅田 梨沙
審判員	伊藤 正明、湯浅 よしの

成績

男子	3m 飛板飛込	寺内 健	9位 / 岡本 優	33位
	高飛込	村上 和基	43位	
女子	高飛込	中川 真依	6位 / 浅田 梨沙	16位
	シンクロ高飛込	山下 美沙子 / 中川 真依	11位	

以上

3.水球

水球委員長代行 原 朗

平成19年度男子代表は、欧州強豪クラブに派遣している3選手を軸に、若手新戦力を多数加えたチーム編成で「ワールドリーグ アジアオセアニアラウンド」を突破し、ファイナル進出を目標にした。また、2002年度から進めている「ジュニアからの一貫指導」により育成した選手編成で、「バンコクユニバーシアード大会」「世界ジュニア選手権」に出場した。結果はワールドリーグについては第3位でファイナル進出ならず、中国に対し僅差ながら2戦2敗であった。一方、ユニバーシアードは若手の活躍により、強豪ロシアをはじめ破り6位入賞を果たした。次回大会にも参加できる選手が多数おり、メダル獲得に向けて強化を図りたい。また、世界ジュニア選手権は、組み合わせの不運もあり11位と終わったが、ベスト8をかけた地元アメリカ戦において大観衆の中、互角の戦いができたことや、最終戦に欧州8位のスロバキアに勝利したことが若手選手の良い経験となった。

女子代表については、男子同様に「ワールドリーグ アジアオセアニアラウンド」を突破し、ファイナル進出を目標にした。また同じく「ジュニアからの一貫指導」により育成した選手によるチームで「世界ジュニア選手

権」に出場した。ワールドリーグの結果は、中国に1分1敗で男子同様第3位となりファイナル進出を逃した。世界ジュニア選手権は、過去最高の11位と小仲選手が得点王を獲得する活躍を見せた。

男女とも昨年度の反省から、新ルールに対応した戦術の向上をテーマにしたが、欧州各国の進歩にはついて行けなかった。これについては、外国人コーチを長期招聘して対応していきたい。また、体格に劣る現状とルール変更によるハンディを克服するための更なる体力向上強化が重要となった。これは、水球能力基準を確りと制定して、各所属での強化を促がして行きたい。

2008年度は「チャレンジ10」の後半5年となる。国際大会に勝利するためには1点差勝負である。この事は、選手が日頃から常に競い合っている環境が重要となる。この様な環境作りが強化のみならず、競技会等あらゆる環境で生れる様、日本水球界一丸となって努力して行きたい。

ワールドリーグアジア大洋州予選

大会名:水球男子ワールドリーグアジア大洋州ラウンド

派遣期間:平成19年7月2日～9日

場 所:中国・上海

役 員:チームリーダー 原 朗

ヘッドコーチ 宮崎 昌樹

コーチ グラン＝サブリッチ

総 務 黒田 克己

トレーナー 岡田 隆

帯同審判 若林 和人

選 手:大島 仁 棚村 英行 長沼 敦 原口 泰博

柳瀬 浩喜 永田 敏 小林 浩司 松本 宗

青柳 勸 塩田 義法 佐藤 太一 西村 尚史

柳瀬 彰良 星合 郊 坂本 将一

日本戦の結果

日本 8-10 中国

日本 14-5 中国B

日本 8-12 オーストラリア

日本 7-11 中国

日本 8-7 中国B

日本 3-15 オーストラリア

最終順位 1位 オーストラリア

2位 中国

3位 日本

(中国Bはオープン参加)

ジュニア世界選手権

大会名:男子ジュニア世界選手権大会

派遣期間:平成19年8月14日～8月28日

場 所:アメリカ・ロングビーチ

役 員:チームリーダー 原 朗

監督 遠藤 卓也

コーチ 北崎 匡

	マネージャー	川上 哲		
	帯同審判	榎橋 邦広		
選 手:	棚村 英行	池本 亨史	染谷 将利	醍醐 裕也
	志水 裕介	柳瀬 浩喜	安田 陽一	高橋 庸孝
	松本 宗	若松 弘樹	山口 浩	堂下 直樹
	柳瀬 彰良			

日本戦の結果

【予 選】	日本 6 - 17 ギリシャ	日本 9 - 14 イラン
	日本 6 - 18 セルビア	日本 10 - 6 ニュージーランド
	日本 6 - 18 オーストラリア	

【順位決定予備戦】

日本 8 - 11 アメリカ	日本 8 - 9 ブラジル
----------------	---------------

【順位決定戦】 日本 17 - 10 スロバキア

最終順位 日本 11位

ユース遠征

大会名:スロバキア国際大会

派遣期間:平成19年7月2日～7月10日

場 所:スロバキアトボルチャーニー

役 員:監督 大本 洋嗣

コーチ 長濱 哲也

選 手:	棚村 克行	清水 直樹	木下 智貴	小山 優
	三浦 敏史	保田 賢也	大川 慶悟	石谷 啓輔
	根井 亮輔	広江 将飛人	近藤 祐貴	小高 友紘
	深川 晃一			

日本戦の結果

日本 15 - 5 スロバキア	日本 9 - 10 オーストラリア
日本 7 - 9 ハンガリー	日本 14 - 9 スロベニア

最終順位 日本 3位

カデット遠征

大会名:男子カデット遠征・スプリット合宿

派遣期間:平成19年12月15日～12月24日

場 所:クロアチア・スプリット

役 員:コーチ グラン・サブリッチ

チームマネージャー 榎本 至

アシスタントコーチ 佐藤 太一

選 手:	清水 直樹	小泉 拓也	加藤 健太	羽角 翔太
	志賀 光明	按田 大成	三井田 誠	沼口 光
	岩元 貴大	竹田 純	市川 雅浩	中村 光希
	石山 治	戸張 真寿		

日本戦の結果

クリスマスーナメントに参戦

日本 13-11 ポシュク

日本 18-10 モルナール

日本 10-2 ヤドラン

最終順位 1位 日本
3位 ヤドラン

2位 ポシュク
4位 モルナール

ワールドリーグアジア大洋州予選

大会名:水球女子ワールドリーグアジア大洋州ラウンド

派遣期間:平成19年5月21日~6月4日

場 所:中国・天津

役 員:チームマネージャー鈴木 雷天

ヘッドコーチ 木村 文明

総 務 潮崎 正一

帯同審判 折笠 敬一

選 手:	沼崎 未希	山崎 茜	中野 由美	曲山 紫乃
	岡村 幸	宇田川 佑里子	小川 沙希	行天 朋加
	河崎 茉里	小中 美沙	矢作 美香	吉田 奈央
	富山 薫美子			

日本戦の結果

中国 8 - 6 日本

日本 13 - 9 ニューゼaland

日本 2 - 19 オーストラリア

中国 7 - 7 日本 (PT5 - 4)

日本 11 - 10 ニューゼaland

日本 1 - 13 オーストラリア

最終順位 日本 3位

ジュニア世界選手権アジア予選

大会名:女子ジュニア世界選手権アジア予選

派遣期間:平成19年5月21日~5月26日

場 所:中国・天津

役 員:ヘッドコーチ 永田 研史

コーチ兼生活担当 齊藤 好史

選 手:	富山 薫美子	阿部 麻里奈	平山 緑	杉田 実咲
	安本 智恵	曲山 紫乃	小川 沙希	竹山 智美
	行天 朋加	小中 美沙	藤野 真奈美	西尾 彩香
	久保田 愛美			

年度には内容の 1 部改善も実施、全国育成強化の柱として発展させていく。オリンピック強化とともに、五輪後のナショナル強化、長期育成強化ともに活動できた年であった。

(1) 国際競技大会

(ア) スイスオープン

7月15日～24日(スイス・チューリッヒ)

チームリーダー	中村 鈴子			
ヘッドコーチ	鵜飼 美保			
コーチ	梁瀬 千鶴			
トレーナー	大金 ユリカ			
審判員	樋口 恵好	本間 三和子		
選手	石黒 由美子	足立 夢実	荒井 美帆	木村 紗野
	中村 麻衣	木村 真野	乾 友紀子	小林 祐加子
	上南 侑生	大原 奈津希	柴田 亜耶	川合 結万

成績(月刊水泳8月号 vol.373)

ソロ	1位	石黒 由美子
デュエット	4位	木村 真野・木村 紗野
チーム	2位	
フリーコンビネーション	1位	

(イ) ワールドトロフィー

10月12日～14日(ブラジル・リオデジャネイロ)

チームリーダー	中村 鈴子			
ヘッドコーチ	鵜飼 美保			
選手	足立 夢実	荒井 美帆	小西 貴子	小林 祐加子
	木村 紗野	木村 真野	中村 麻衣	乾 友紀子
成績	1位 ロシア	2位 スペイン	3位 アメリカ	4位 日本

(ウ) アジアエーシグループ選手権

8月26日～30日(インドネシア・ジャカルタ)

ヘッドコーチ	片山 満津芳			
コーチ	内田 まゆみ	傍示 桃子	吉田 美保	
帯同審判	齋藤 由紀	鷲見 朗子		
選手	乾 友紀子	大原 奈津希	横山 愛実	酒井 麻里子
	飯田 咲紀	糸山 真与	小野 茜	箱山 愛香
	杉山 美紗	岡野 真己		

成績		
ソロ	1位	乾 友紀子
デュエット	1位	飯田・酒井組
チーム	1位	

(エ) プラハ国際大会

12月6日～7日(チェコ・プラハ)

チームリーダー 齋藤 由紀

コーチ 花牟礼 雅美

選手 三井 梨紗子 木村 叶

成績(月刊水泳1月号 vol378)

デュエット 1位 三井・木村組

フィギュア 1位 三井 梨紗子 2位 木村 叶

(2) 審判員研修会・講習会・バッジテスト・シンクロ科学技術活動

競技者育成プログラムバッジテスト

大阪会場 (なみはやプール) 6月17日 受験者 194名

大阪会場 (京都アクアアリーナ) 6月29日 受験者 50名

東京会場(東京辰巳国際水泳場) 9月24日 受験者 180名

競技者育成プログラム一貫指導エリート教育対象競技者オーディション

オーディション:国立スポーツ科学センター 9月24日 受験者57名

合格者4名

合宿活動 第1回 10月12日～14日(2泊3日)

第2回 11月9日～11日(2泊3日)

第3回 12月24日～27日(3泊4日)

科学技術活動

ナショナルチーム・エリート教育・強化選抜選手への栄養・体力サポート

ルーティン・スキル分析サポート(分析・映像フィードバック)

成人身長予測プログラムの開発

シンクロウェブсайт開設・運営(JISS 情報研究部プロジェクト協力)

アンチドーピング活動・その他

5. 医・科学

医・科学委員長 野村 照夫

医事部は、救護、強化支援、アンチドーピング、教育・普及、総務の担当者を明確にし、日本選手権、ジュニアオリンピック、学生選手権等の国内主要競技会における救護、ユニバーシアド、世界競泳等の国際競技会への医師帯同・トレーナーの派遣、180検体全て陰性であったドーピングコントロールの実施や薬剤相談FAX対応など、計画的に業務を遂行できた。

科学技術部は、日本選手権、世界競泳、ジュニアオリンピック夏季、ジャパンオープン(短水路)におけるレース分析など競技力向上に関する調査研究をほぼ完遂することができた。また、オリンピック準強化選手の合宿(三重および静岡)において水中映像提供を行い、新潟、北海道、群馬、京都、和歌山など地域における水中映像フィードバック、講義、ディスタンス大会の映像提供などジュニアの競技力向上に関する科学サポートを拡大した。さらに、北京オープンへも委員およびスタッフを派遣し、レース分析およびプール環境の調査等を行うなど科学支援を充実させた。

教育・啓発活動として、第20回日本水泳ドクター会議(東京)、第17回日本水泳トレーナー会議(東京)第

11回日本水泳科学研究会(神奈川)、医学生・若手医師のためのスポーツ医学・健康医学セミナーなどによって、水泳の医・科学に関する情報交流および若手の育成を行った。

医・科学事業を持続的に行うために、若手の育成、関係各委員会との連携、危機管理体制の確立などが課題として挙げられる。

4. 国際交流関係

(寄附行為第4条-11)

1. FINA(国際水泳連盟)関係

- (1) 理事会 (2/7~8: スイス・ローザンヌ) 古橋 廣之進
- (2) その他
- FINA シンクロ講習会: 講師(4/27~29: 豪州・ブリスベーン) 本間 三和子
- FINA ワールドカップシドニー大会・テレグート(11/2~3: 豪州・シドニー) 緒方 茂生

2. AASF(アジア水泳連盟)関係

- (1) 総会 (10/30: 中国・マカオ) 古橋廣之進・佐野 和夫
- (2) 理事会 (10/31 中国・マカオ) 古橋廣之進・佐野和夫・本間三和子
- (3) 競技会
- ・アジアエージグループ選手権(8/26~30: インドネシア・ジャカルタ) 古橋廣之進

3. 派遣 及び 招聘

(1) 派遣

・総合大会

ユニバーシアード大会(8/11~17: タイ・バンコク) 審判(飛込): 伊藤 正明・湯浅 よしの
(水球): 大島 明・牧野 和彦

アジアエージグループ選手権

競泳・シンクロ(8/26~30: インドネシア・ジャカルタ) 審判(競泳): 藤田 博
(シンクロ): 斉藤 由紀・鷺見 朗子

飛込(8/7~11: インドネシア・ジャカルタ) 審判(飛込): 村越 爽江

(2) 競技大会

・飛込

FINA 飛込グランプリ大会

カナダ大会(5/3~6: カナダ・モントリオール) 審判: 伊藤 正明・高橋 亜紀

アメリカ大会(5/10~13: アメリカ・フォートロダゲール) 審判: 高橋 亜紀

FINA 飛込ワールドカップ(2/19~25: 中国・北京) 審判: 伊藤 正明・湯浅よしの

・水球

男子ジュニア世界選手権・アジア予選(4/20~24: シンガポール) 審判: 槇橋 邦広

女子ワールドリーグアジア・オセアニアラウンド

(5/29~6/3: 中国・天津) 審判: 折笠 敬一

男子ワールドリーグアジア・オセアニアラウンド(7/3~8: 中国・上海) 審判: 若林 和人

男子ジュニア世界選手権(8/14~28: アメリカ・ロングビーチ) 審判: 槇橋 邦広

・シンクロ

スイスオープン(7/19~22: スイス・チューリッヒ) 審判: 本間三和子・樋口 恵好

チェコプラハ国際(12/8~9:チェコ・プラハ)

審判:樋口 育子

(3)研修会

ASCAコーチクリニック(9/4~8:アメリカ・サンディエゴ)

村松さやか

FINA 競泳審判セミナー(1/27~28:中国・北京)

江口 和美

FINA 飛込審判セミナー(4/5~7:東京)

伊藤 正明・高橋 亜紀・松本 行夫
金戸 幸・清水 国重・村越 爽江
大塚奈保美・湯浅よしの・中島 勝司
安永 三郎・鈴木 洋子・富 泰宏
小谷理貴子・山岸 勲・安田千万樹
野村 孝路・馬淵 崇英

FINA水球審判セミナー(5/29~31:中国・天津)

大島 明・福元 寿夫・井上 嘉隆

(10/12~14:フィリピン・マニラ)

黒田 克己・南 隆尚

FINAシンクロジャッジ・コーチセミナー

牧田 和彦・潮崎 正一

(11/22~25:東京)

市橋 晴江・樋口 恵好・本間三和子

斉藤 由紀・樋口 育子・山田 智子

鷲見 朗子・田中 洋子

(4)視察

北京五輪視察(6/8~10:中国・北京)

林 利博・佐野 和夫

北京五輪合宿地視察(5/3~5:韓国・チェジュ)

上野 広治

ヨーロッパ選手権視察(3/18~24:オランダ・アイントフォーヘン)

上野 広治・村松さやか

世界選手権事前合宿地視察(3/25~26:ルクセンブルグ)

上野 広治・村松さやか

パンアメリカンゲームス視察(7/21~22:ブラジル・リオデジャネイロ)

上野 広治

高地トレーニング合宿視察(7/25~28:アメリカ・フラッグスタッフ)

上野 広治

パリオープン大会視察(8/2~5:フランス・パリ)

上野 広治

水球クロアチア視察(11/15~19:クロアチア・スプリット)

宮崎昌樹・黒田克己

シンクロローマオープン大会視察(5/31~6/5:イタリア・ローマ)

金子正子・小川眞佐代・霧久由利子

シンクロ合宿地視察(8/8~9:韓国・チェジュ)

金子正子

(5)その他

シンクロシアコーチ招聘(8/12~20:東京 & 2/10~17:東京)

Gana Maximova

水球コーチ招聘(6/14~7/1:東京)

Goran Sablic

Japan Open テクニカルデレゲート(2/23~24:東京)

Pipat Paniangvait , Woon Sui Kut

5. 競 技 事 業

(寄附行為第4条 - 4)

(1) 競技

競技委員長 安部 喜方

平成19年度の代表的な競技事業は、競泳の「世界競泳2007イン ジャパン」である。日本選手権(競泳)を千葉県国際総合水泳場で行い、引き続き8月に世界競泳2007を開催した。

ジャパンオープンと日本選手権において、実技研修を終了した全国から16名の競技委員長が派遣役員として競技会に参加した。

大会期間中、全国競技委員長会議を開催し、FINA講師によるセミナーを行った。その後、国際競技大会を観戦し、全国の競技会のレベルアップにつなげた。

飛込は、4月に行われた室内選抜飛込競技大会期間中に、FINA役員講習会を開催した。シンクロは、11月にFINAジャッジスクールを開催し、それぞれ審判員のレベルアップを図った。また、水球は、将来の競技力向上にむけ、20年度にFINAワールドリーグ アジア・オセアニアラウンドを誘致し開催することを企画した。

平成19年度(2007年)競技会開催実績

競技会名	開催都道府県・場所 開催日時 参加団体・参加者数(男女別)
室内選抜飛込競技大会 兼国際大会代表選手選考会	東京・東京辰巳国際水泳場 4月6日(金)～8日(日) 団体(32)男子(26名)・女子(22名)
第83回日本選手権水泳競技大会(競泳競技) 兼第24回ユニバーシアード競技大会代表選手選考会 兼世界競泳2007代表選手選考会	千葉県・千葉県国際総合水泳場 4月5日(木)～8日(日) 団体(267)男子(360名)女子(363名)
第83回日本選手権水泳競技大会(シンクロ競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 5月2日(水)～5日(土) 団体(18)女子(264名)・海外12カ国44名
第83回日本選手権水泳競技大会(水球競技)	東京都・東京体育館屋内プール 6月29日(木)～7月1日(日) 団体(8)男子(114名)
第24回全国女子水球競技大会	東京都・東京体育館屋内プール 6月29日(木)～7月1日(日) 団体(8)女子(115名)
第84回日本選手権水泳競技大会(飛込競技) 兼国際大会代表選手選考会	大分県・別府市営青山プール 8月3日(金)～5日(日) 団体(35)男子(33名)女子(35名)
第24回日本マスターズ水泳選手権大会	東京都・東京辰巳国際水泳場 7月13日(金)～16日(月) 団体(1222)男子(3542名)女子(3140名)
オープンウォータースイミング ジャパンオープン2007館山	千葉県・館山市北条中央海岸 7月15日(日) 3Km91名・10km47名・リレー11チーム
第11回館山国際オープンウォータースイムレース	千葉県・館山市北条中央海岸 7月16日(月) 3Km278名・1km229名・リレー47チーム
第58回日本実業団水泳競技大会	大分県・別府市営青山プール 8月4日(土)～5日(日) 団体(346)男子(1615名)女子(272名)
第54回全国国立大学選手権水泳競技大会	兵庫県・神戸市ポートアイランドスポーツセンター 8月8日(水)～9日(木) 団体(79)男子(446名)女子(226名)
日本シンクロチャレンジカップ2007	東京都・東京辰巳国際水泳場 8月8日(水)～11日(土) 団体(29)女子(287名)

第75回日本高等学校選手権水泳競技大会(競泳競技)	佐賀県・佐賀県総合運動場水泳場 8月17日(金)～20日(月) 団体(399)男子(918名)女子(813名)
第75回日本高等学校選手権水泳競技大会(飛込競技)	佐賀県・佐賀県総合運動場水泳場 8月17日(金)～20日(月) 団体(40)男子(30名)女子(23名)
第75回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球競技)	佐賀県・佐賀県立佐賀東高校 8月17日(金)～20日(月) 団体(20)男子(258名)
第47回全国中学校水泳競技大会(競泳競技)	岩手県・盛岡市立総合プール 8月21日(火)～23日(木) 団体(595)男子(669名)女子(720名)
第47回全国中学校水泳競技大会(飛込競技)	岩手県・盛岡市立総合プール 8月21日(火)～23日(木) 団体(71)男子(48名)女子(47名)
第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 (競泳競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 8月26日(日)～30日(木) 団体(866)男子(1902名)女子(2056名)
第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 (飛込競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 8月27日(月)～30日(木) 団体(45)男子(63名)女子(78名)
第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 (水球競技)	岡山県・児島地区公園水泳場 8月26日(日)～30日(木) 団体(81)参加数(942名)
第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 (シンクロ競技)	大阪府・府立門真スポーツセンター 8月27日(月)～30日(木) 団体(29)女子(461名)
第83回日本学生選手権水泳競技大会(競泳競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 9月7日(金)～9日(日) 団体(99)男子(784名)女子(498名)
第83回日本学生選手権水泳競技大会(飛込競技)	福島県・郡山カルチャーホールプール 9月8日(土)～9日(日) 団体(13)男子(23名)女子(16名)
第83回日本学生選手権水泳競技大会(水球競技)	神奈川県・相模原市立総合プール 9月21日(木)～24日(日) 男子(22団体・270名)女子(5団体・53名)
第62回国民体育大会水泳競技大会(競泳競技)	秋田県・秋田県立総合プール 9月30日(日)～10月3日(水) 団体(47)男子(682名)女子(539名)
第62回国民体育大会水泳競技大会(飛込競技)	秋田県・秋田県立総合プール 9月30日(日)～10月2日(火) 団体(35)男子(50)女子(50)
第62回国民体育大会水泳競技大会(水球競技)	秋田県・秋田県立総合プール 10月5日(金)～8日(月) 団体(16)男子(207名)
第62回国民体育大会水泳競技大会(シンクロ競技)	秋田県・秋田県立総合プール 10月4日(木) 団体(20)女子(40名)
シンクロ 13・15歳ユ・テニエット大会	東京都・東京辰巳国際水泳場 平成20年1月26日(土) 団体(16)女子(40名)
シンクロ フィギュアトライアル2007	東京都・東京辰巳国際水泳場 平成20年1月27日(日) 団体(23)女子(56名)
第49回日本短水路選手権水泳競技大会 Japan Open2008	東京都・東京辰巳国際水泳場 平成20年2月23日(土)・24日(日)海外7カ国18名 団体(269)男子(344名)女子(329名)

第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 (競泳競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 平成20年3月27日(木)～30日(日) 団体(1002)男子(2715名)女子(2550名)
第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 (水球競技)	千葉県・千葉県国際総合水泳場 平成20年3月27日(木)～30日(日) 団体(85)参加者(1046名)
世界競泳2007インジャパン	千葉県・千葉県国際総合水泳場 8月21日(火)～24日(金) 33カ国・選手298名・役員185名

(2)学生

学生委員長 山重 美登士

1、日本学生選手権大会

第83回日本学生選手権水泳競技大会は、9月7日・8日・9日の3日間、東京辰巳国際水泳場において、東京都水泳協会・財団法人日本水泳連盟学生委員会関東支部の主管により開催された。

競泳競技、男子は、日本大学が昨年に引き続き天皇杯を獲得した。女子は、昨年に引き続き鹿屋体育大学が奥野杯を獲得した。日本記録3個・大会新記録13個を樹立した。日本新記録は、鹿屋体育大学が200mリレーで、日本大学・佐藤久佳選手が100m自由形で、神奈川大学・種田恵選手が200m平泳ぎでそれぞれ樹立した。参加状況は、出場校男子・女子合わせて107校、参加人数男子786名・女子501名、エントリー数リレー231種目・個人1572種目で行なった。

飛込競技は、9月8日・9日の2日間福島県郡山カルチャープールにおいて、福島県水泳連盟の主管により開催された。男子は、日本体育大学が優勝、女子は、日本大学が優勝した。

参加状況は、出場校13校、参加人数男子21名・女子16名、エントリー数男子38名・女子31名であった。

水球競技は、9月21日～24日の4日間、相模原総合水泳場・千葉県国際水泳場を会場に開催され、男子22チーム女子4チームが熱戦を繰り広げた。決勝は日本大学対日本体育大学の対戦となったが、日本体育大学が10年連続31回目の優勝を飾った。

2、全国国公立大学選手権大会

第54回全国国公立大学選手権水泳競技大会は、8月8日・9日の2日間、神戸市立ポートアイランドスポーツセンターにおいて、兵庫県水泳連盟・財団法人日本水泳連盟学生委員会関西支部の主管により開催された。男子は筑波大学が優勝・女子は鹿屋体育大学が優勝した。大会新記録男子3個を樹立した。

参加状況は、出場校79校、参加人数：男子446名、女子226名、エントリー数：男子589名、女子402名、リレー：男子100種目、女子65種目で行なわれた。

(3)ジュニア

ジュニア委員長 鈴木 浩二

平成19年度は夏季大会・春季大会ともに第30回を記念する大会であった。近年の標準記録改定は、底辺の拡充に重点を置き、50mにつき0.1秒の上げ幅であり、毎年100種目にわたる記録改定を繰り返しても、選手のレベルアップがそれを上回り、増員を続けることになった。19年度では、これまでの『底辺拡充』から、『ゆとりある競技会の実現』を図ることとし、その上げ幅を0.2秒に広げた。その結果これまで増大を続けた参加者が、夏季大会は昨年比約200名の減少、春季大会は昨年比約240名の減少となった。

即時公認の大会となり、新記録数が減少するという懸念もあったが、夏季大会は、高校新記録6、中学新記録2・大会新記録39という成績であり、春季大会では、日本新記録1、高校新記録6、中学新記録5・中学タイ記録1、学童新記録2、大会新記録28・大会タイ記録1という素晴らしい成績であった。共にこれまで希薄であった13～14歳区分が徐々に充実し、その影響が中学生・高校生全体におよび、レベルの高い競技会となった。

また30回を記念して、夏季大会・春季大会ともに記念ピンバッジを贈ると共に、各年齢区分・各泳法・男女別32名に対し『記念表彰』を実施、贈呈した。

6. 指導者養成事業関係 (寄附行為第4条-2)

指導者養成事業担当 設楽 義信

平成19年度の指導者養成事業は順調に進捗して成果の向上がみられた。水泳教師委員会については、SC協との共同事業のタイアップ化を図り新体制の中で有意に発展させた。地域指導者委員会では、全国地域指導者(普及)委員長会議で、普及における事業の共通理解を図り、AED 特別研修会を全国8地区で実施した。競技力向上コーチ委員会は、例年どおり数多くのハイレベルな研修会・新規養成講習会を実施し、コーチ資格者の育成や資質向上に努めた。

水泳競技は指導者の育成が原点であり、三委員会では質の高い幅広い指導者の養成を目指して努力していく所存である。

- (1) 地域指導者委員会 地域指導者委員長 宮本 憲二
* 11.合宿・指導・講習・研修関係 参照
- (2) 競技力向上コーチ委員会 競技力向上コーチ委員長 設楽 義信
* 11.合宿・指導・講習・研修関係 参照
- (3) 水泳教師委員会 水泳教師委員長 澁谷 俊一
* 11.合宿・指導・講習・研修関係 参照

7. 生涯スポーツ・普及事業

生涯スポーツ・普及事業担当 山本 浩

平成19年度の事業は、一部18年度の継続部分を挿入し「対象者の領域が広く且つ多面的要素を鑑み関係者に活動の主旨や目的の理解度を図り、活動内容を充実する」ことを目標に掲げ、合わせて地域スポーツ(市町村単位)の活性化と、他関係団体との融合性を含めそれぞれの分野での活動を実施した。

実施項目の中で、選手育成の一環としての地域の活動実績に対し表彰を行い、10年目を経過した泳力検定では、合算実績を考慮し合わせて表彰を行った。日本スポーツマスターズ大会では、連盟独自で男女総合成績とプラス貢献度も配慮し、最優秀・優秀団体として加盟団体を表彰し、今後の参加者の増員にも繋げることを配慮して実施した。

- 1. 日本泳法委員会 日本泳法委員長 八木沼 正彦
日本泳法委員会は各流派が地域に根ざして活動できるように保存と普及を目指し発祥した場所、游泳人口の多い地域の振興に資するため、今年度は小堀流発祥の地であり、古閑現師範のいる熊本と游泳人口の減少に悩む観海流を発祥の津市近郊鈴鹿に訪ねた。

第52回日本泳法大会の実施

平成19年8月18日・19日の二日間、熊本・アクアドームくまもとにおいて日本泳法大会を開催した。九州での大会開催は2回目で、九州地区の流派の参加者が増加したが、北海道、関東、中部などからの参加者が減少し、全体では参加者が100人程度少なかった。

第57回日本泳法研究会

平成20年3月22日・23日の両日、「観海流」を研究課題として三重県鈴鹿「フラワーガーデン

ンホテル」で講義、三重県営鈴鹿スポーツガーデン水泳場において実技の披露が行われた。津市の無形文化財の指定を受けている観海流は、長距離を泳ぎ渡ることを主としているが、昨今遊泳場所の阿漕が浦周辺が開発により環境の変わり、十分に泳げる状況にないことが気にかかる。従って、伝統を継承する若手が育っていないため、今後注目していく必要があると考える。

審判員の研修

18年度からの継続で、各流派の映像を使用した研修を3流派ずつ二回にわけて実施した。これまでは各流派の基本技についての研修であったが、今後は泳ぎの種類を増やし、研修を続けていく予定。また、審判員毎の採点ヒストグラムの分析を提示し、個人の審判力の強化と倫理観を養っていくプログラムを継続させたい。

広報体制の強化

日本泳法のとっかかりが見いだせないという一般の方々からの問い合わせが続くため、映画「よみがえる日本泳法」をDVD化し、都道府県の主な図書館および各流派に縁の深い地域の図書館など約100カ所に寄贈した。

また、メディアからの取材の度に、日本泳法を説明する素材が必要だとする広報担当者の要望により小冊子を作成、配布を開始した。

2.生涯スポーツ委員会

生涯スポーツ委員長 山本 浩

年度当初より、日本スポーツマスターズ大会・泳力検定、両事業の全加盟団体参加へのアピールを、(社)日本マスターズ協会の支援を頂き、「ちらし」並びに参加募集の文書を作成し配布を行った。

同時に、本年より実施する表彰制度の実施内容の確認と、推薦書等の作成を早期に仕上げ理解を深めた。新しい事業の為、今後さらに改善を進めていきたい。

泳力検定

- ・泳力検定 実績数認定書発行 34,248名(詳細別添)
- ・特別泳力検定会 茨城県 8月12日/千葉県 10月8日/長野県 10月14日
多少の問題点はあるものの、泳力検定制度に対する理解度は高まった。
- ・泳力検定表彰 16団体

日本スポーツマスターズ滋賀大会2007の実施(日体協委託事業)

- ・9月14日(金)代表者会議・総合開会式
- ・9月15日(土)競技1日目・木原光知子水泳教室
- ・9月16日(日)競技2日目
主管県滋賀、並びにブロックから多数の参加あり 470名
水連独自の考えで、最優秀団体・優秀団体を表彰した
最優秀団体 神奈川県水泳連盟
優秀団体 千葉県水泳連盟・滋賀県水泳連盟

普及関係

- ・選手育成の一環としての地域の活動実績に対し表彰を行う 16団体

3.オープンウォータースイミング委員会

OWS委員長 鷲見 全弘

OWSの安全で健全な発展のために必要な普及活動と、競技力向上に必要な企画・立案・調査活動を実施した1年であった。

OWSジャパンオープン2007館山 / 第11回館山オープンウォータースイムレースの実施

日 時:平成19年7月15日、16日
場 所:千葉県館山市北条海岸
要 点:台風4号の影響で中止

湘南オープンウォータースイミング2007の支援

日 時:平成19年8月11日、12日
場 所:神奈川県藤沢市、鎌倉市、逗子市一帯
参加者:1449名
要 点:審判業務およびレースディレクト業務を担当、完遂

OWSスイムクリニックの実施

期 間:平成19年4月22日～9月1日
場 所:プール...ウォーターメイツスイムクラブ横浜校殿、千葉国際総合水泳場殿、
近畿大学殿
海.....神奈川県逗子海岸、兵庫県須磨海岸、兵庫県姫路市家島
参加者:111名
要 点:講義・座学(基礎知識の習得)と実技(基本的なOWSスイムテクニックの体得)を実施。全国に拡大するOWS大会の状況に応じて、初めて関西地区でもクリニックを実施

加盟団体が主催するOWS大会の支援

1)うたせオープンウォータースイミングinあしきた

日 時...平成19年7月16日
場 所...熊本県芦北町芦北海岸
主 催...熊本県水泳協会
要 点...競技運営支援

2)ひめじ家島オープンウォータースイミング大会

日 時...平成19年9月2日
場 所...兵庫県姫路市家島諸島
主 催...兵庫県水泳連盟
要 点...競技運営支援

競艇場の調査

競艇場を活用したOWS競技の大会・練習会・記録会などの実施可能性について現地調査

調査場所...浜名湖競艇場(平成19年9月28日実施)、多摩川競艇場(平成19年10月5日実施)、平和島競艇場(平成19年10月18日実施)

8. 総務事業 (寄附行為第4条-5)

総務事業担当 泉 正文

総務事業としては、平成19年度は各委員会との連携を強め、北京オリンピックの好成績につなげるための諸事業に積極的に取り組むことを目標とした。特に、情報システム委員会を中心に競技人口の拡大・管理を図るために、競技者登録方法の変更及びWebでの登録システムの本格稼働を実施したが、プログラムの不具合が多数発生し多くの方にご迷惑をおかけした事を改めて陳謝したい。また、3日以内の大会結果報告率は大幅に改善したが、記録管理の精度に問題があり大きな課題が残った。

広報委員会は、月刊水泳の内容を充実させるため、ブロック毎に担当者を決め情報ネットワークを構築すべく取り組んだが、完全配置ができず次年度に持ち越しをした。ホームページのタイムリーな更新は作業体制も整い、ほぼ目標を達成しアクセス数も飛躍的に伸ばすことができた。

また、新体制で臨んだ施設用具委員会のプール公認については、現状に即した運用システムを目指しスムーズな審査業務ができた。但し、年度目標であった公認推薦器具の開発には手をつけることができず課題が残った。

総務委員会については、安定的な財源確保のため免税募金の広報PR活動を展開したが、思ったほどの成果が上がらず厳しい現状であった。公認推薦制度についても、事業撤退等の事由で公認推薦を辞退する企業があり、ここ数年減少傾向が続いている。JOC肖像権を中心としたマーケティング収入は安定。オフィシャル3社とのサプライヤー契約も順調に推移しており、全体的には競技力向上を支える財源の確保が図られた。

1. 広報委員会

広報委員長 坂元 要

「月刊水泳」の発行事業については、水泳連盟主催の主要競技大会の結果報告と水泳連盟の各種活動内容をタイムリーに情報伝達するように心掛け、内容充実に努めた。しかし、定期発行(毎日25日)については、発行日が遅れることもあり反省する点があった。予算面については、制作・印刷業務の見直しを行い、経費削減の効果をあげることが出来た。

ホームページの活用促進については、運営・管理を委託している業者との連携がスムーズになり、主要大会の開催告知や各委員会からの情報アップ、そして水泳連盟と加盟団体等の内部情報伝達、関係企業・団体との広範な情報活動が迅速にできるようになった。アクセス数においては、水泳関係者や水泳愛好家をはじめ国民一般からのアクセスがあり、1ヶ月間での最高アクセス数が414,440件あり、月平均では昨年を約10,000件上回る268,000件あった。

今後も引き続き両事業に重点をおき、より良いものにしていく予定である。

2. 施設用具委員会

施設用具委員長 岡本 亮生

前年度に引き続き、プール公認規則改定内容について周知徹底を図るとともに、FINAのルール改訂にあわせ、コースロープの配色、床面のクロスラインの設置等についても、指導を行ってきた。さらに委員会の増強を実施し、プール公認審査事務の円滑化を推進中であり、今後重点的に取り組んでいく予定である。

(施設用具委員会事業)

プール公認規則等の整備

プール施設の公認

プール用器具の公認・推薦
プール施設およびプール用器具の研究・開発

3. 情報システム委員会

情報システム委員長 須永 孝

2007年度4月から新競技者登録制度が実施され、これに合わせて競技者登録・大会エントリーシステムの使用を開始した。このシステムはインターネットを利用して、従来のWindows版より使い易くしたものである。即ちパソコンへのシステムのインストール等が不要であり、インターネットが使えるれば24時間365日「何時でも・何処でも・誰でも」競技者登録や大会エントリーが容易に行えるようになっている。2006年度にWeb化した原型のシステムでは、当初システムの不具合で使用者の皆様大変ご迷惑をお掛けした。このような状況から各加盟団体の情報システム担当の方々が、各登録団体への地道な普及活動とシステムの改善要求を取り込むことでようやく軌道に乗せることができた。この紙面をお借りして、改めて各加盟団体の情報システム担当者の方々と関係者各位に感謝を申し上げたい。

Web-SWMSYSを中心としたシステム化が進んで、各加盟団体からは、次の要望として競技者登録費・大会のエントリー費と金融機関との連携があげられており、同じ認識で開発を進めている。また、競泳のWeb化の横展開として、各種別の大会エントリーシステムの開発も計画している。このようにWeb化が進む中で、最近インターネットの問題点も指摘されており、個人情報或いは重要秘密情報等の漏洩ニュースが話題になっているが、セキュリティ面での問題の90%は、人為的なミスに起因しているといわれている。今年1月に開催した全国情報システム委員会においても、Web-SWMSYSを扱うパソコンの留意点についてお願いをしたが、特にウイニー等のデータ共有化ソフトが入っているパソコンでは、絶対にWeb-SWMSYSを使用しないように再度徹底をお願いしたい。

Web版の競技者登録・大会エントリーシステムの開発と普及
リザルトシステムの改善要望のまとめと対策
記録ランキングシステムの正確性の向上

4. 総務委員会

総務委員長 泉 正文

『センターポールに日の丸を』のスローガンのもと、総務委員会の19年度は「寄附行為をはじめとした諸規定の改定・整備をすすめ、諸規定集の発刊をする。安定的な財源確保のための免税募金活動の活発化、公認推薦制度の推進、オフィシャルサプライヤーとの連携強化を重点に事業を展開した。

その結果、寄附行為及び諸規定の整合性を図るなどの改定はできたものの、改定作業に手間取り規定集の発刊までは出来ず、次年度に積み残すこととなった。

また、安定的な財源確保を目標とした免税募金事業は、6,500万円の計画額のもと活発な広報PR活動を実施したが、最終的には4,938万円と厳しい現状であった。公認推薦事業は、公認11社・推薦13社とここ数年新規企業も少なく、また事業撤退等による公認推薦辞退で減少傾向が続いており、新規器具の開発、募集体制の見直しが急務である。オフィシャルサプライヤー事業については、オープンウォータースイミングへのサポートの開始、千葉県で開催された『世界競泳』への支援などサプライヤー3社との連携は、より強固になり順調に推移している。

9. 記録

(寄附行為第4条 - 5)

1. 日本新記録及び高校・中学・学童記録の公認

(長水路)		4/2	4/5 ~ 8	8/20	8/21 ~ 24
日本記録	10	{ 男子 2 女子 8	{ 男子 3 女子 2	{ 男子 0 女子 1	{ 男子 3 女子 1
高校記録		男子 女子	1 { 男子 1 女子 0	1 { 男子 0 女子 1	3 { 男子 3 女子 0
中学記録		男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子
学童記録		男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子
(短水路)					
日本記録		男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子
高校記録	6	{ 男子 1 女子 5	男子 女子	2 { 男子 2 女子 0	男子 女子
中学記録	7	{ 男子 6 女子 1	男子 女子	男子 女子	男子 女子
学童記録	11	{ 男子 10 女子 1	男子 女子	男子 女子	男子 女子
日本タイ		男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子
高校タイ		男子 女子	1 { 男子 1 女子 0	男子 女子	男子 女子
中学タイ	2	{ 男子 2 女子 0	男子 女子	男子 女子	男子 女子

(長水路)					
日本記録	3 { 9/28 男子 1 女子 2	1 { 10/4 男子 1 女子 0	2 { 2/22 男子 1 女子 1	18 { 2/23~24 男子 11 女子 7	3/26 男子 女子
高校記録	6 { 男子 3 女子 3	1 { 男子 1 女子 0	5 { 男子 3 女子 2	6 { 男子 5 女子 1	男子 女子
中学記録	2 { 男子 1 女子 1	男子 女子	8 { 男子 6 女子 2	7 { 男子 6 女子 1	2 { 男子 0 女子 2
学童記録	男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子
(短水路)					
日本記録	男子 女子	男子 女子	2 { 男子 0 女子 2	男子 女子	2 { 男子 1 女子 1
高校記録	男子 女子	男子 女子	4 { 男子 0 女子 4	男子 女子	4 { 男子 0 女子 4
中学記録	男子 女子	男子 女子	2 { 男子 1 女子 1	男子 女子	1 { 男子 1 女子 0
学童記録	男子 女子	男子 女子	3 { 男子 3 女子 0	男子 女子	2 { 男子 2 女子 0
日本タイ	男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子
高校タイ	2 { 男子 1 女子 1	男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子
中学タイ	男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子	男子 女子

1. 日本水泳連盟 最優秀・優秀選手賞

(最優秀選手)

北島 康介(きたじま こうすけ) 日本コカ・コーラ

(優秀選手)

佐藤 久佳(さとう ひさよし) 日本大学(3年)
 松田 丈志(まつだ たけし) 中京大学大学院(1年)・ミズノ・スイムチーム
 森田 智己(もりた ともみ) セントラルスポーツ
 宮下 純一(みやした じゅんいち) ホリプロ
 入江 陵介(いりえ りょうすけ) 近畿大附属高校(3年)・イトマンSS
 山本 貴司(やまもと たかし) 近畿大学職員
 柴田 隆一(しばた りゅういち) チームアリーナ
 高桑 健(たかくわ けん) 鹿屋体育大学(4年)
 佐野 秀匡(さの ひでまさ) ミズノ・スイムチーム
 森 隆弘(もり たかひろ) 西日本スポーツアカデミー
 坂田 龍亮(さかた りゅうすけ) 明治大学(4年)・セントラルスポーツ
 柴田 亜衣(しばた あい) 鹿屋体育大学大学院・チームアリーナ
 中村 礼子(なかむら れいこ) 東京スイミングセンター
 伊藤 華英(いとう はなえ) セントラルスポーツ
 寺川 綾(てらかわ あや) ミズノ・スイムチーム
 北川 麻美(きたがわ あさみ) 早稲田大学(2年)・イトマン大宮
 中西 悠子(なかにし ゆうこ) 枚方SS
 矢野友理江(やの ゆりえ) 関西大学(1年)・コナミスポーツクラブ西日本
 種田 恵(たねだ めぐみ) 神奈川大学(3年)・JSS長岡
 田村菜々香(たむら ななか) 東海大学(3年)
 寺内 健(てらうち けん) JSS長岡
 原田 早穂(はらだ さほ) 東京シンクロクラブ・ミキハウス
 鈴木絵美子(すずき えみこ) 東京シンクロクラブ・ミキハウス
 松村亜矢子(まつむら あやこ) 中京大学附属高校職員・ザ・クラブピア88
 川嶋奈緒子(かわしま なおこ) アクラブ調布・(株)アール・ビー・ティークラブ
 小村恵里佳(こむら えりか) 井村シンクロクラブ
 橘 雅子(たちばな まさこ) 桃山学院大学職員・浜寺水練学校
 小林 寛美(こばやし ひろみ) 大阪市立大学(4年)・浜寺水練学校
 鈴木英里奈(すずき えりな) ザ・クラブピア88・椋山女学園大学(3年)
 青木 愛(あおき あい) びわこ成蹊スポーツ大学(3年)・井村シンクロクラブ
 小西 貴子(こにし たかこ) 立命館大学(2年)・井村シンクロクラブ

(優秀コーチ)

平井 伯昌(ひらい のりまさ) 東京SC
 鶴久由利子(つるひさ ゆりこ) 浜寺水練学校

2. 東京運動記者クラブ水泳分科会賞 本年度対象者なし

3. 日本スポーツ賞(読売新聞社) 優秀選手賞 北島 康介

4. ビックススポーツ賞(テレビ朝日)

ビックススポーツ賞 北島 康介

特 別 賞 柴田亜衣、中村礼子、森田智己、山本貴司、細川大輔

シンクロナイズドスイミング日本代表チーム

水泳プロジェクト賞 北島 康介、入江陵介、山本貴司、柴田亜衣、森田智己、高安亮、
佐藤久佳

5. 日本記録賞

長水路日本記録賞

(男子)

佐藤 久佳 松田 丈志

入江 陵介 高安 亮

及川 直樹 星田 悠

高松 泰武 細川 大輔

伊藤 真 小島 貴光

森田 智己 北島 康介

山本 貴司

(女子)

中村 礼子 加藤 ゆか

種田 恵 植田富祐美

高鍋 絵美 湯本 杏

鈴木 茉莉 竹村 幸

福田 愛美 山口 美咲

金子 栞 田村菜々香

三田 真希

短水路日本記録賞

(男子)

佐藤 久佳 日原 将吾

松田 丈志 森田 智己

高安 亮 北島 康介

佐野 秀匡

(女子)

上田 春佳 酒井 志穂

中村 礼子 加藤 ゆか

土肥亜也子 中西 悠子

北川 麻美

平成19年度 有功章

加盟団体推薦

1	北海道水泳連盟	藤田 睦博	23	愛知水泳連盟	若林 和人
2	青森県水泳連盟	葛原 満	24	愛知水泳連盟	鶴飼 美保
3	宮城県水泳連盟	松本 敏憲	25	三重県水泳連盟	伊藤 洋治
4	秋田県水泳連盟	津谷 永光	26	岐阜県水泳連盟	筒井 孝司
5	山形県水泳連盟	堀井 善道	27	京都水泳協会	檀野 晴一
6	福島県水泳連盟	長崎 敏秀	28	(財)大阪水泳協会	高岸 清治
7	茨城県水泳連盟	市毛 薫	29	(財)大阪水泳協会	濱口 健
8	栃木県水泳連盟	親松 久雄	30	兵庫県水泳連盟	渡川 進
9	群馬県水泳連盟	田中 信宏	31	和歌山県水泳連盟	南波 克憲
10	埼玉県水泳連盟	増井 正澄	32	(財)鳥取県水泳連盟	中尾 等
11	千葉県水泳連盟	新川 謙一	33	(財)島根県水泳連盟	飯塚 克己
12	東京都水泳協会	中村 恵子	34	岡山県水泳連盟	松井 守
13	東京都水泳協会	関戸 真紀子	35	(財)広島県水泳連盟	沖 千波
14	神奈川県水泳連盟	武田 悦夫	36	香川県水泳協会	片山 陽一
15	神奈川県水泳連盟	安木 政二	37	徳島県水泳連盟	藤川 眞仁
16	山梨県水泳連盟	小川 徹	38	高知県水泳連盟	楠目 博之
17	長野県水泳連盟	武井 貞文	39	福岡県水泳連盟	末次 學
18	新潟県水泳連盟	矢島 秀三	40	長崎県水泳連盟	北村 征彦
19	富山県水泳連盟	野口 忠夫	41	熊本県水泳協会	田代 稔
20	石川県水泳協会	尾本 英臣	42	大分県水泳連盟	東 徳昭
21	福井県水泳連盟	河崎 英司	43	鹿児島県水泳連盟	赤崎 誠
22	静岡県水泳連盟	中村 正義	44	沖縄県水泳連盟	原野 正道

日本水泳連盟推薦

45	競泳委員会	末次 澄王	48	地域指導者委員会	金井 茂夫
46	シンクロ委員会	中村 鈴子	49	学生委員会	山重 美登士
47	競技力向上コーチ委員会	杉本 宮子	50	日本泳法委員会	今村 昌明

合計 50名

平成19年度(2007年)優秀団体表彰

栄章規則第18条 優秀団体 イ

青森水泳協会(青森県)	松島町水泳スポーツ少年団(宮城県)
鶴岡市立朝揚第二小学校(山形県)	那珂市水泳スポーツ少年団(茨城県)
高崎水泳協会(群馬県)	相模原市水泳協会(神奈川県)
富山市水泳協会(富山県)	白峰水泳クラブ(石川県)
名古屋市水泳連盟(愛知県)	長島中部小学校(三重県)
奈良県小学校体育研究会(奈良県)	南部町立西伯小学校(鳥取県)
玉野市立荘内小学校(岡山県)	広島市立安佐中学校(広島県)
徳島市水泳協会(徳島県)	
志布志水泳スポーツ少年団「志布志ドルフィンズ」(鹿児島県)	

16件

栄章規則第18条優秀団体 ロ

競泳塾鯨(東海イトマン)	豊川高等学校
横浜国際プール	レオスイミングスクール厚木
大教スイミングスクール郡山北	ナガイスイミングスクール
スウィン前橋スイミングスクール	千葉イトマンスイミングスクール(サンピアSC)
大宮スイミングスクール	大教スイミングスクール大宮東
埼玉スウィンスイミングスクール鷺宮	イーグルスポーツプラザ小山
スポーツクラブルネサンス土気あすみが丘	スポーツクラブルネサンス佐倉
東京イトマンスイミングスクール東伏見	独立行政法人環境再生保全機構

16件

11. 合宿・指導・講習・研修

(寄付行為第4条 - 2)

1. 合宿
国内合宿

(1) 競泳

ジュニア研修合宿 (ブロック別合宿)

ブロック	期間	場所	スタッフ(名)	選手(名)	計(名)	
北海道	12/23~28	野幌総合運動公園体育館プール	7	31	38	
東北	12/19~24	岩手県菅屋内温水プール	9	30	39	
関東	12/16~21	栃木県立温水プール	10	48	58	
東京	12/21~26	東京辰巳国際水泳場	18	83	101	
北信越	12/22~28	航空自衛隊小松基地プール・加賀市中央公園水泳プール	6	30	36	
北海道	12/23~28	三重県鈴鹿スポーツガーデン	6	24	30	
近畿	12/25~30	(財)大阪水泳協会 大阪水泳学校	9	22	31	
中国	12/23~26	フジタドルフィンクラブ	7	27	34	
四国	12/23~28	香川県立総合水泳プール・サンダースイミング高松プール	5	31	36	
九州	12/22~27	アゼリア21	12	31	43	
			(計)	89	357	446

オリンピック準強化選手強化合宿

中学生合宿	12/15~23	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	50	56	106
高校生合宿	12/15~23	静岡県富士水泳場	22	36	58

世界競泳・ユニバーシアード合同合宿

第1回	5/8~12	国立スポーツ科学センター	22	64	86
第2回	7/3~30	国立スポーツ科学センター	42	34	76

ユニバーシアード直前合宿

8/2~5	国立スポーツ科学センター	12	36	48
-------	--------------	----	----	----

世界競泳直前合宿

第1組	7/31~8/17	国立スポーツ科学センター	2	6	8
第2組	8/15~17	国立スポーツ科学センター	6	16	22

オリンピック強化選手合宿

第1回	11/12~20	国立スポーツ科学センター	11	29	40
第2回	12/12~20	国立スポーツ科学センター	17	31	48
第3回	1/15~24	国立スポーツ科学センター	12	24	36
第4回	2/7~20	国立スポーツ科学センター	15	28	43

自由形オリンピック候補選手合宿

男子	12/2~12	国立スポーツ科学センター	7	15	22
女子	12/2~15	鹿屋体育大学	6	11	17

(2) 飛込

ジュニア強化合宿

ジュニア	11/23~25	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	14	18	32
ナショナルジュニア	12/19~24	静岡県富士水泳場	9	16	25
ナショナルジュニア	3/26~30	静岡県富士水泳場	11	10	21

FINAグランプリ CAN-US大会事前合宿

4/23~29	静岡県富士水泳場	5	7	12
---------	----------	---	---	----

ユニバーシアード大会事前合宿

7/9~13	静岡県富士水泳場	2	4	6
--------	----------	---	---	---

ワールドカップ事前合宿

第1回	12/19~24	静岡県富士水泳場	5	6	11
第2回	1/24~27	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	5	6	11
第3回	1/27~2/3	静岡県富士水泳場	4	6	10

巡回指導						
関東	9/15～16	千葉県幕張総合高校、他	8	30	38	
北信越	11/2～4	富山県総合体育センター	9	36	45	
拠点事業						
上期	4月～9月	宝塚スイミングスクール、富士水泳場、他	延22	延92	延114	
下期	10月～2月	宝塚スイミングスクール、鈴鹿スポーツガーデン、他	延9	延63	延72	
上海合宿	3/16～26	中国・上海	3	5	8	
(3) 水球						
男子カデット研修合宿	9/15～17	国立スポーツ科学センター	13	85	98	
スロバキア国際大会事前合宿	6/30～7/2	国立スポーツ科学センター	5	13	18	
世界ジュニア選手権大会事前合宿	8/11～14	国立スポーツ科学センター	5	8	13	
水球女子国内強化合宿						
第1回	5/12～14	国立スポーツ科学センター	9	21	30	
第2回	7/17～19	国立スポーツ科学センター	2	12	14	
第3回	10/5～7	国立スポーツ科学センター	8	18	26	
第4回	11/23～25	聖徳大学附属聖徳高校	7	17	24	
第5回	12/22～24	国立スポーツ科学センター	6	19	25	
女子ユース研修合宿	7/6～8	国立スポーツ科学センター	5	17	22	
全日本男子強化合宿						
第1回	4/20～22	国立スポーツ科学センター	4	13	17	
第2回	4/26～29	国立スポーツ科学センター	21	7	28	
第3回	5/6～6/3	日本体育大学健志台プール	3	15	18	
第4回	6/16～27	日本体育大学健志台プール	6	20	26	
第5回	7/25～8/5	日本体育大学健志台プール	7	21	28	
ワールドリーグ強化合宿	3/12～26	国立スポーツ科学センター	11	30	41	
(4) シンクロ						
全国選抜ジュニア中央合宿	12/21～25	国立スポーツ科学センター	16	19	35	
アジアAG大会合宿						
第1回	5/20～27	長野アクアウイング	9	8	17	
第2回	6/24～7/1	長野アクアウイング	12	8	20	
第3回	7/21～27	長野アクアウイング	7	8	15	
第4回	8/5～7	長野アクアウイング	7	8	15	
第5回	8/13～20	長野アクアウイング	11	9	20	
エリート教育対象合宿						
査定合宿	9/1～2	国立スポーツ科学センター	15	16	31	
第1回	10/11～14	国立スポーツ科学センター	23	15	38	
第2回	11/8～11	国立スポーツ科学センター	25	15	40	
第3回	12/24～27	国立スポーツ科学センター	20	14	34	
チェコ国際大会合宿	12/1～3	富山県総合体育センター	3	2	5	
ジュニア強化対象選手合宿	10/18～21	国立スポーツ科学センター	10	11	21	

スイスオープン大会合宿					
第 1 回	5/23 ~ 31	静岡県立水泳場	11	12	23
第 2 回	6/22 ~ 7/1	静岡県立水泳場	11	12	23
第 3 回	7/5 ~ 13	静岡県立水泳場	8	12	20
全国選抜シニア中央合宿					
	12/17 ~ 21	国立スポーツ科学センター	12	17	29
日本選手権合宿					
第 1 回	4/20 ~ 30	国立スポーツ科学センター	20	12	32
第 2 回	4/30 ~ 5/5	辰巳国際水泳場	6	12	18
ワールドトロフィ合宿					
第 1 回	9/14 ~ 16	国立スポーツ科学センター	3	2	5
第 2 回	9/21 ~ 24	静岡県立水泳場	2	8	10
第 3 回	9/26 ~ 10/4	国立スポーツ科学センター	9	8	17
第 4 回	10/6 ~ 8	国立スポーツ科学センター	7	8	15
北京五輪特別強化合宿					
第 1 回	6/8 ~ 7/2	国立スポーツ科学センター	31	12	43
第 2 回	7/22 ~ 28	国立スポーツ科学センター	10	12	22
第 3 回	8/6 ~ 21	国立スポーツ科学センター	17	11	28
第 4 回	9/17 ~ 26	国立スポーツ科学センター	11	11	22
第 6 回	10/25 ~ 11/4	国立スポーツ科学センター	14	13	27
第 7 回	11/11 ~ 24	国立スポーツ科学センター	21	13	34
第 8 回	11/30 ~ 12/5	国立スポーツ科学センター	13	13	26
最終選考会合宿	12/13 ~ 19	国立スポーツ科学センター	6	13	19
第 9 回	1/4 ~ 14	国立スポーツ科学センター	16	9	25
第 10 回	1/20 ~ 2/6	静岡県富士水泳場	18	9	27
第 11 回	2/10 ~ 27	国立スポーツ科学センター	25	9	34
第 12 回	3/2 ~ 14	静岡県富士水泳場	19	9	28
第 13 回	3/18 ~ 30	静岡県富士水泳場	22	9	31
オリンピックデュエット合宿					
	12/22 ~ 25	相模原グリーンプール	3	2	5
リフトトレーニング合宿					
	12/28 ~ 29	徳州会体操場	4	2	6
海外合宿					
(1) 競泳					
ジュニアアメリカ遠征・コロラドスプリングス高地強化合宿					
	7/2 ~ 7/13	アメリカ コロラドスプリングス	5	16	21
世界競泳2007サポート高地合宿					
	7/3 ~ 7/30	アメリカ フラッグスタッフ	16	20	36
世界競泳直前韓国合宿					
	8/2 ~ 8/17	韓国 チェジュ	17	19	36
オリンピック候補選手合宿					
第 1 回	11/12 ~ 11/20	アメリカ グアム	16	27	43
第 2 回	12/12 ~ 12/20	アメリカ グアム	14	22	36
第 3 回	1/15 ~ 1/24	アメリカ グアム	12	17	29
第 4 回	2/7 ~ 2/20	アメリカ グアム	20	29	49
(2) 飛込					
ワールドカップ事前合宿					
	2/4 ~ 2/14	中国 上海	4	6	10
(3) 水球					
クロアチア合宿					
	2/18 ~ 3/1	クロアチア スプリット	1	5	6
(4) シンクロ					
五輪候補グアム合宿					
	9/30 ~ 10/20	アメリカ グアム	9	11	20

2. 指導・講習・研修

競技委員会

(1) 競泳・競技役員研修会・講習会

種別	開催県	開催会場	開催期日	派遣講師名	参加人数(予定)	参加人数	備考
北海道ブロック	北海道	道立総合体育センター	平成 19 年 6 月 17 日(日)	大月・後藤	250 名	207 名	
東北ブロック	青森県	青森県総合社会教育センター	平成 19 年 5 月 20 日(日)	谷口・植田	80 名	94 名	
関東ブロック	埼玉県	立教新座中学校・高等学校 セントボールススタジオ	平成 20 年 2 月 17 日(日)	谷口・藤森	100 名	100 名	日本高校
北信越ブロック	富山県	富山市民プール	平成 19 年 6 月 10 日(日)	安部・後藤	95 名	80 名	
東海ブロック	静岡県	静岡労政会館	平成 19 年 4 月 15 日(日)	安部・藤森	200 名	200 名	終了
近畿ブロック	滋賀県	大津市皇子ガ丘体育館大会 議室	平成 19 年 7 月 1 日(日)	藤森・谷口	105 名	105 名	
中国ブロック							
四国ブロック	愛媛県	松山市総合コミュニティーセン ター	平成 19 年 5 月 12 日(土)	谷口・大月	95 名	80 名	
九州ブロック	福岡県	福岡リーセントホテル	平成 19 年 5 月 20 日(日)	藤森・後藤	100 名	100 名	
種別	開催県	開催会場	開催期日	派遣講師名	参加人数(予定)	参加人数	備考
加盟団体	愛知県	サン笠寺 第1・第2会議室	平成 19 年 4 月 29 日(日)	谷口・高橋	120 名	120 名	
加盟団体	佐賀県	佐賀スポーツ会館	平成 19 年 5 月 13 日(日)	*・*	190 名	* 名	派遣要請無し
加盟団体	新潟県	県立長岡大手高校 済美会 館	平成 19 年 5 月 19 日(土)	大月・後藤	60 名	85 名	国体
加盟団体	秋田県	秋田県立総合プール	平成 19 年 5 月 20 日(日)	安部・鈴木	100 名	100 名	国体
加盟団体	大分県	県高校大会	平成 19 年 6 月 3 日(日)	大月・高橋	* 名	* 名	競技会指導
加盟団体	長崎県	矢太楼南館	平成 19 年 10 月 13 日(土)	藤森・*	* 名	* 名	
加盟団体	新潟県	新潟市東総合スポーツセン ター	平成 19 年 12 月 2 日(日)	藤森・谷口	60 名	110 名	国体
加盟団体	神奈川県	横浜国際プール	平成 20 年 2 月 11 日(月)	佐野・谷口	150 名	150 名	

(2) 飛込: 公認審判員中央研修会

東京会場	平成 19 年 4 月 5 ~ 7 日	東京辰巳国際水泳場会議室	参加数 40 名
九州会場	平成 19 年 8 月 3 ~ 5 日	大分県別府青山プール	参加数 5 名
大阪会場	平成 19 年 10 月 20 日	大阪リバーサイドホテル会議室	参加数 20 名

(3) 水球: 審判員講習会

	審判・指導者講習会	インターハイ予選	国体予選
東北	6 / 2(土) 3(日) 場所 秋田県立プール 講師 1名 牧田 27名	7 / 14(土)・15(日) 場所 岩手県立プール 審判 1名 牧田	8 / 4(土)・5(日) 場所 福島県立プール 審判 2名 波多(1名のみ)
関東	予定 4 / 8(日) 場所 城北高校 講師 2名 牧田・黒田 20名	7 / 25(水) ~ 27(金) 場所 東京都室内プール 審判 2名 南部・牧田	8 / 4(土)・5(日) 場所 川口青木公園 審判 2名 木下・南部
北信越	4 / 21(土)・22(日) 場所 柏崎アクア 講師 若林 28名	7 / 20(金) ~ 22(日) 場所 富山県総合体育セン 審判 ブロック対応	8 / 4(土)・5(日) 場所 福井県営水泳場 審判 ブロック対応
東海	4 / 29(土) 場所 春日井市温水プール 講師 1名 若林 28名	7 / 21(土) ~ 22(日) 場所 静岡県営水泳場 審判 工藤	8 / 4(土)・5(日) 場所 三重県・鈴鹿プール 審判 1名 牧田
近畿	6 / 9(土) 場所 京都鳥羽高校 講師 1名 大島 25名	7 / 25(水) ~ 26(木) 場所 大坂茨木高校 審判 1名 若林	8 / 4(土)・5(日) 場所 奈良平城高校 審判 ブロック対応
中国	4 / 22(日) 場所 鳴門教育大学	7 / 21(土) ~ 23(月) 場所 岡山県営プール	8 / 4(土)・5(日) 場所 広島工業高校

	講師1名 牧田 25名	審判 2名 福元・近県1	審判 1名 井上
四国	4/22(日) 場所 鳴門教育大学 講師1名 牧田 中国に同じ	7/15(日)・16(月) 場所 高松南高校 審判 0名	7/29(日) 場所 高松南高校 審判近県1 伊瀬 中央0名
	5/12(土)・13(日) 場所 大分商業高校 講師1名 牧田 28名	7/19(木)・20(金) 場所 大分商業高校 審判 1名 大島	7/21(土)・22(日) 場所 大分商業高校 審判 1名 大島

その他 講習会事前打ち合わせ	3月28日	千葉国際水泳場	講師 牧田・黒田	15名
第1回 中央講習会	6月30日	東京都・ユーハイム	講師 ボリス・マルゲータ	36名
第2回 中央講習会	9月22日	相模原グリーンプール	講師 牧田	18名

(4)シンクロ:審判員研修会・講習会

審判長派遣

	期 日	派遣先	大 会	審判長
1	4月1日(日)	富 山	・日本選手権県予選会(北信越地区)	岡田一恵
2	4月2日(日)	静 岡	・日本選手権県予選会(東海地区)	齋藤由紀
3	6月23日(土) 24日(日)	長 野	・長野県フィギュア・ルーティン大会 ・日本チャレンジカップ 2007 県予選会	山田智子
4	6月30日(土) 7月1日(日)	新 潟	・日本チャレンジカップ 2007 新潟県予選会 ・2007 新潟県シンクロ競技会 ・国体県代表選手選考会	宮崎三つ保
5	6月30日(土) 7月1日(日)	島 根	・日本チャレンジカップ 07 県予選会(島根・広島・岡山) ・中国五県対抗水泳競技大会・ルーティン大会	樋口恵好
6	7月7日(土) 8日(日)	秋 田	・日本チャレンジカップ 2007 東北ブロック予選会	濱川俊恵
7	7月21日(土) 22日(日)	三 重	・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ 東海ブロック大会 ・国体東海ブロック大会	小山順子
8	7月21日(土) 22日(日)	大 分	・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ 九州ブロック大会 ・国体九州ブロック大会	岡田一恵
9	7月28日(土) 29日(日)	広 島	・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ 中国・四国ブロック大会 ・国体中国・四国ブロック大会	齋藤由紀
10	7月28日(土) 29日(日)	福 井	・第28回北信越国民体育大会 ・第21回北信越シンクロ大会 ・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ 北信越大会	岡田一恵

講師派遣事業(加盟団体主催の審判研修会)

	期 日	主催・場所	派遣講師	参加者数および対象者
1	4月1日(日)	富 山	岡田一恵	参加者数:9名 B級(2名)C級(7名)
2	4月8日(日)	静 岡	齋藤由紀	参加者数:16名 B級(6名)・C級(10名)
3	6月10日(土)	岡 山	樋口恵好	参加者数:4名 B級(1名)・C級(3名)
4	6月23日(土)	長 野	山田智子	参加者数:7名 B級(2名)・C級(7名)

5	6月30日(土)	新潟	宮崎三つ保	参加者数:9名 B級(2名)・C級(7名)
6	6月30日(土)	島根	樋口恵好	参加者数:12名 B級(4名)・C級(8名)
7	7月7日(土)	秋田	濱川俊恵	参加者数:10名 B級(3名)・C級(7名)
8	7月21日(土)	三重	小山順子	参加者数:17名 B級(5名)・C級(12名)
9	7月21日(土)	大分	岡田一恵	参加者数:13名 B級(3名)・C級(10名)
10	8月8日(水)	日水連・東京	審判部	参加者数:24名 A級(15名)・B級(9名)
11	8月26日(日)	日水連・大阪	審判部	参加者数:26名 B級(13名)・C級(13名)
12	08'3月2日(日)	兵庫	樋口育子	参加者数:15名 B級(3名)・C級(12名)
13	08'3月9日(日)	東京都	齋藤由紀	参加者数:14名 B級(4名)・C級(10名)
14	08'3月15・16日 (土・日)	日水連	審判部	参加者数:61名 A級(16名)・B級(17名)・ C級(28名)

シンクロ審判員養成講習会および検定試験

1	11月23日(金)	日水連・神奈川	審判部	受講/受験者数:27/26名 A級3名・B級5/4名・ C級19名
---	-----------	---------	-----	--------------------------------------

その他

08年3月 登録管理(新規登録・更新)

(5)医・科学

			医科学委員会
第17回日本水泳トレーナー会議	12月1日	東京厚生年金病院会議室	41名
第20回日本水泳ドクター会議	6月9日	東京如水会館	45名
第11回医学生・研修生のためのスポーツ医学・健康医学セミナー			
	8月25日	新潟・長岡市医師会館	18名
第11回日本水泳科学研究会	11月18日	神奈川・鎌倉女子大学	140名

平成19年度 地域指導者委員会に関する主な事業報告	
スポーツ指導者に関する事業	
水泳上級指導者専門科目養成講習会 3会場 計: 新規 137人 再試 57人	
東京会場	9月21日(金)～24日(月) 国立スポーツ科学センター 新規 53人 再試 25人
熊本会場	10月 5日(金)～ 8日(月) パークドーム熊本 新規 47人
群馬会場	11月22日(木)～25日(日) 敷島公園水泳場 新規 37人 再試 32人
免除適応校専門科目検定 5会場 計: 新規 117人 再試 8人	
愛知会場	11月25日(日) 愛知県スポーツ会館, 愛知県体育館(新規16人)
大阪会場	12月 2日(日) コミュニティープラザ平野, 大阪水泳学校 (新規47人 再試5人)
北海道会場	1月18日(金) 北海道青少年会館(新規14人 再試2人)
東京会場	2月 9日(土) 東京体育館 (新規24人 再試1人)
神奈川会場	2月17日(土) 神奈川県立体育センター(新規16人)
研修に関する事業	
AEDトレーナー特別研修(加盟団体の中心的指導者対象)計 154人参加	
静岡会場	9月 2日(日) 静岡県立水泳場 17人
岩手会場	9月15日(日) 盛岡市総合プール 18人
熊本会場	10月 7日(日) パークドーム熊本 24人
新潟会場	11月11日(日) 柏崎市中央地区公民館 15人
高知会場	11月17日(土) 高知市総合運動場体育館 22人
東京会場	12月 1日(土) 津田ホール 16人
岡山会場	12月 2日(日) ピュアリティーまきび 22人
大阪会場	1月20日(日) 大阪水泳学校長吉校 20人
マスター指導員中央研修会	
	10月21日(日) 東京:こどもの城 80人
会議に関する事業	
第31回全国地域指導者(普及)委員長会議	
	6月2日(土)～3日(日) 東京虎ノ門「パストラルホテル」 日水連役員, 日体協スポーツ育成部, 加盟団体委員長 75人
東海地区委員長会議(静岡) 9月 2日(日) 静岡県立水泳場	
北海道・東北地区委員長会議(北海道) 11月17日(土) 新さっぽろアーキティーホテル	
関東地区委員長会議(東京) 12月 1日(土) 津田ホール	
中国地区委員長会議(岡山) 12月 2日(日) ピュアリティーまきび	
九州地区委員長会議(佐賀) 2月23日(土) 東横イン佐賀	
スポーツ指導員の現況	
マスター水泳上級指導員	234人(教員資格マスター含む) *地域177人
水泳上級指導員	1,622人
水泳指導員	13,421人
基礎水泳指導員	654人
	計 15,931人

1.コーチ

会場	期日 & 会場名	競泳	飛込	水球	シンクロ	会場合計
A 東京	9月28日(金) あいおい損保新宿ビル	250				250
B 福岡	10月6日(土) アクション福岡	89				89
C 北海道	10月13日(土) 北海道立総合体育センター	89			30	119
D 大阪	10月20日(土) 大阪リバーサイドホテル	124	33		59	216
E 東京	11月11日(日) あいおい損保新宿ビル	255		42	72	369
F 高松	11月17日(土) 高松テルサ	39				39
G 名古屋	12月1日(土) 日本ガイシフォーラム(旧サン笠寺)	117				117
H 東京	1月12日(土) あいおい損保新宿ビル	243	60		51	354
I 広島	1月19日(土) 広島県立総合体育館	67				67
J 東京	1月27日(日) あいおい損保新宿ビル	223			45	268
K 神戸	2月2日(土) ホテルパールシティ神戸	63		25		88
合計		1,559	93	67	257	1,976

2.上級コーチ

会場	期日 & 会場名	競泳	飛込	水球	シンクロ	会場合計
東京	10月27日(土) あいおい損保新宿ビル	268	24			292
大阪	11月3日(土) 大阪リバーサイドホテル	139		32	59	230
合計		407	24	32	59	522

3.コーチ新規養成講習会

種別	期日 & 会場名	競泳	飛込	水球	シンクロ	会場合計
コーチ	12月17日(月)～20日(木) 国立オリンピック記念青少年総合センター	41	4	12	8	65
上級コーチ	1月25日(金)～26日(土) あいおい損保新宿ビル	23	7		1	31

(8)商業施設教師研修会

水泳教師委員会

水泳教師資格更新研修会 全国24会場 受講者数534人 (社)日本スイミングクラブ協会にて実施

水泳教師資格登録者数

平成 19 年 10 月 1 日	新規登録者数	169名
	更新登録者数	508名
	<u>追加昇格者数</u>	<u>31名</u>
	合計	708名

水泳教師養成講習会(受講者)

【SC開催 専門科目総合履修証発行者】 101名

【適応認定コース】	トライデントスポーツ健康科学専門学校	4名
	東京YMCA社会体育専門学校	13名
	東京スポーツレクリエーション専門学校	11名
	大阪社会体育専門学校	11名
	<u>東京リゾート&スポーツ専門学校</u>	<u>13名</u>
	合計	52名

水泳教師在籍施設証明事業

平成 19 年 10 月 1 日 認定施設累計 100 施設

(9)加盟団体別泳力検定実施状況

生涯スポーツ委員会

2007年4月1日～2008年3月31日

No.001～845

都道府県	認定証	バッチ1級	バッチ2級	バッチ3級	バッチ4級	バッチ5級
1 北海道	2023	278	333	681	361	217
2 青森	415	48	71	111	105	50
3 岩手	388	73	83	114	45	35
4 宮城	525	72	82	181	105	64
5 秋田	38	18	13	19	4	4
6 山形	193	29	44	75	32	20
7 福島	1643	115	273	478	401	366
8 茨城	2203	142	360	604	489	361
9 栃木	625	70	105	203	154	131
10 群馬	2813	181	505	877	684	522
11 埼玉	6642	566	1202	2030	1474	1009
12 千葉	1815	344	519	546	220	130
13 東京	3622	365	655	1222	784	582
14 神奈川	2195	369	484	940	264	136
15 山梨	405	92	98	158	42	13
16 長野	824	90	156	239	211	127
17 新潟	965	47	55	83	198	128
18 富山	282	27	15	73	46	11
19 石川	0	0	0	0	0	0
20 福井	0	0	0	0	0	0
21 静岡	276	51	58	73	56	23
22 愛知	1097	213	86	440	203	154
23 三重	56	6	5	13	16	15
24 岐阜	158	15	22	74	15	0
25 滋賀	153	32	44	49	36	22
26 京都	689	64	109	281	92	74
27 大阪	471	45	74	173	124	57
28 兵庫	874	75	111	228	210	118
29 奈良	443	37	72	152	77	46
30 和歌山	174	12	34	88	23	23
31 鳥取	11	0	0	7	0	4
32 島根	0	0	0	0	0	0
33 岡山	95	12	14	34	32	3
34 広島	118	8	36	28	12	34
35 山口	123	10	14	31	36	31
36 香川	78	11	12	24	7	17
37 徳島	0	0	0	0	0	0
38 愛媛	30	7	8	0	4	8
39 高知	0	0	0	1	0	0
40 福岡	55	3	2	31	10	9
41 佐賀	160	14	29	38	50	42
42 長崎	87	3	10	38	19	14
43 熊本	262	0	4	23	32	10
44 大分	334	23	27	80	111	98
45 宮崎	170	20	30	41	59	19
46 鹿児島	100	20	0	80	0	0
47 沖縄	34	3	1	10	9	6
中央泳力検定会(2007.8&10)						
茨城(8/12)	259	2	15	102	20	41
千葉(10/8)	325	40	65	110	60	50
	認定証数	バッチ1級数	バッチ2級数	バッチ3級数	バッチ4級数	バッチ5級数
	34,248	3,652	5,935	10,883	6,932	4,824

12. 地域会議報告

(寄附行為第4条-3)

(開催済)

地域	担当県	日程	出席者
東北	宮城	10月13日(土)	林会長・佐野専務・青木副会長
北海道	北海道	10月14日(日)	林会長・佐野専務・青木副会長
北信越	福井	10月20日(土)	林会長・佐野専務・青木副会長
東海	岐阜	11月10日(土)	林会長・佐野専務・青木副会長
四国	愛媛	11月11日(日)	林会長・佐野専務・青木副会長
中国	山口	11月17日(土)	林会長・佐野専務・青木副会長
関東	東京	11月18日(日)	林会長・佐野専務・青木副会長
近畿	滋賀	12月1日(土)	林会長・佐野専務・青木副会長
九州	沖縄	12月2日(日)	林会長・佐野専務・青木副会長

議 題

1. 歓迎の挨拶 開催地 加盟団体長
2. 挨拶及び現況報告 (財)日本水泳連盟 林会長
 - (1) 要旨
 - (2) 日本水泳界競技力の現状
3. 平成19年度上期事業報告 (財)日本水泳連盟 佐野副会長・専務理事
 - (1) FINA・アジア水連(国際関係)
 - (2) 特別事業関係
 - (3) 競技力向上関係
 - 国際競技会報告
 - (イ) 世界水泳メルボルン 3/17~4/1
 - (ロ) ユニバーシアード・バンコク 8/8~8/18
 - (ハ) 世界競泳・千葉 8/21~8/24
 - 平成19年度オリンピック強化・準強化選手一覧
 - (4) 競技会関係
 - 平成20年度 主要競技会開催予定および競技会中期計画
 - 国体改革について
 - 日本スポーツマスターズ2007 報告
 - 関東インカレ分割開催について
 - (5) 指導者養成事業関係(登録状況)
 - (6) 生涯スポーツ関係
 - (7) 総務関係
 - 競技者登録状況
 - (財)日本水泳連盟認定 泳力検定制度 推進状況
 - (財)日本水泳連盟総合補償制度推進状況
 - 日本水泳連盟ホームページ アクセス数一覧
 - その他
4. 各加盟団体の要望及び意見
5. 質 疑 応 答

1. 東北地域(H19-10-13 宮城県松島町);[林会長、佐野副会長専務、青木副会長]

- (1) 国体改革の趣旨は理解できるが、地方(東北)にとっては非常に厳しい標準記録が設定されている。今後見直しができないか検討をお願いしたい。

地域会議資料で説明したとおり、一部見直しを行った。すなわち、2008 年に対しては、これまで毎年適用してきた標準記録設定ルールで算出した結果を、少年はインターハイのエントリータイムを比較対象として、一部分について最高 B は 40 位、A は 24 位に修正、また成年は日本ランキングと比較し、一部分を最高 50 位に修正した。会議資料の中の国体改革資料「国体標準記録移行計画」を参照してご理解ください。

- (2) 優秀登録団体表彰に関する推薦について、さらに具体的に説明をしてほしい。優秀登録団体ということは、日水連に団体登録していることが条件となるのか？

会議中に説明したように、表彰は3区分されている。一つは全国 JO 大会で表彰する優秀スイミングクラブ及び優秀コーチであり、これは既にスタートしている。二つ目が今回の優秀登録団体の表彰であり、そして三つ目が泳力検定に実績を上げた団体の表彰である。既に具体的な例をあげて文書で各加盟団体に推薦をお願いしており、端的に言えば以前の優秀小学校表彰の範囲を拡張したものと考えてよい。一般のスイミングクラブを除く各種団体が対象となる。登録団体という言葉になっているが、日水連登録が必須条件ではないのでよく状況を理解してご推薦をいただきたい。

- (3) 日本スポーツマスターズ大会に関して、国体同様に自治体あるいは体協からの補助金、予算組みに対する配慮を推進していただきたい。

この問題は、本大会設立の時点から日体協に申し入れているが、実現は難しい状況にある。機会を見て継続的に意見交換していきたいと考えている。

来年 H20 年度より国体 30 才以上部門が廃止されることもあり、その受け皿の一つとして、競技指向の大会として発展させていきたい考えである。

2. 北海道地域(H19-10-14 北海道札幌市);[林会長、佐野副会長専務、青木副会長]

- (1) 公認競泳競技役員ユニフォーム(モデルチェンジ)について

現在のユニフォームの改訂は、主として生地(アイスタッチ)を H14 年度に実施した。改訂は 10 年間を一つの区切りとして考えているが、大幅にモデルチェンジをすることは余りにも影響が大き過ぎることである。すなわち現在全国的に莫大な数が普及されており、改訂すれば大きな無駄が発生することも考えられるので慎重に検討したい。次の改善は、先般開催された世界競泳の競技役員ユニフォームに使用したエコ素材の利用を検討している。

- (2) 競技役員ネームプレートの ID 化について

現在、複数の競技会が有料化されている。また既に、大会毎に各種 AD カードを作成発行してい

る。有料化、選手保護の観点から大会のセキュリティは益々重要になってきている。ID(Identification)カード[身分証明書]による入場チェックは、全国の競技役員が入場できることになるが、各大会の特色があり、運営上共通に対応することは不可能である。したがって選手同様、大会毎に競技役員に発行する AD(Accreditation)カード[入出許可書]は、ID カード化されても当面実施する予定である。

ID カード化を実現することによって、現在行われている手帳による出席確認を、どのような方法で行うのが良いかは検討したい。

競技役員のデータベース化については、昨年度より加盟団体からの紙ベース登録個人カードに対して登録別(上級・一種・二種)に作業を行っている。今後 ID 化に向けて、各加盟団体でデータベースによる管理をどのように行うのが良いか検討を進めていきたい。

(3) 国体参加(シンクロ)ブロック予選会について

シンクロの国体参加数改革については、資料で説明したごとく実状を把握し、必要な改善を実施したので資料を参照していただきたい。すなわち改革案では、参加チーム数は 20 チームとなる。

(4) 地球温暖化防止策についての取り組み方、具体例について

大会における各種横断幕の掲出(日本語、英語)、ごみ分別、大会プログラムに環境 PR ページ掲載、監督者会議におけるアピール、各競技会場でのアピールムーブメントおよび放送告知、チームマイナス6%参加ピンバッチ作成配付、環境アンバサダーによる対談告知、紙ベースリザルトの大幅減少、エコ素材の活用、etc を実施しているので今後ともご協力をお願いします。

(5) ジュニア(競泳)強化対策計画について

ジュニアニュージーランド遠征(東西に交互遠征実施中)の大幅な見直し、および2016年オリンピック対策として、エリート小学生研修合宿を競泳委員会で検討中であり、10月の常務理事会の承認を得て早急に実施することを目指している。ターゲットはロンドンオリンピックあるいはその次、さらにその次のオリンピックに対する選手育成である。

3. 北信越地域(H19-10-20 福井県あわら市);[林会長、佐野副会長専務、青木副会長]

(1) 国体水球参加ルール改革におけるオーバーエージ改善規則の説明を水球強化部長から受けた。新潟国体から適用することは、新潟県は水球の本拠地である柏崎の震災被害が大きく、まだ復興に至っていないため、新規則を受け入れる余裕はまったくない。したがって、新潟までは従来規則で実施することを願いたい。

ご意見は受け止めた。水球委員会および関係者と相談して、できるだけ希望に沿うように対処したい。

(2) 国体シンクロテクニカルルーチンの競技順序抽選について、以前のように監督者会議の時に公開抽選をすることはできないか。

実状を調査して対応したい。

調査したところ、国体では監督者会議において競技順序を抽選したことはない。テクニカルルーチンの競技順序の抽選は、長年、飛込・水球と併せて日体協が期日を指定して関係者(各種別代表)を招集して実施している実状であり、日体協が制定していることであり、不都合があれば提言していく。

- (3) 本年から選手登録規則が変更されて、第一登録・第二登録システムになり、水球に登録した選手は、競泳に登録しなければ競泳の大会に出場できなくなった。これは地方では、個人の出費も多くなり競泳の大会の参加者減にもつながるので、県内の大会だけでも出場できるように改善していただけないか。

それを認めるとシステム変更の意味がなくなり、元に戻って収拾がつかなくなる。何か他の救済措置ができないか今後検討してみるが難しい問題である。

- (4)「世界競泳 2007 イン ジャパン」を観覧しての提案

テレビ朝日が大会盛り上げのために「太鼓打ち」を多用していた。応援に鳴り物を使用することはいかがなものか。特に国際大会では、鳴り物が観客には耳障りになるので止めるべきだと思う。応援方法の【ニッポン、チャチャチャ！】は、バレーボールの応援の真似であり、止めて欲しい。水泳のオリジナル応援方法を作り出すべきではないか。

(例)【エイ、エイ、ニッポン！】 = 【泳(エイ)、泳(エイ)、日本！】

いずれもご意見として受け止め、今後の参考にしたい。

4. 東海地域(H19.11.10 岐阜県岐阜市);[林会長、佐野副会長・専務、青木副会長]

- (1) 泳力検定制度について、再チャレンジまたは新たなチャレンジを引き出す工夫は何か考えているか。

この制度は水泳普及が主目的である。次のステップとしては資格級にチャレンジし強化につなげることである。現在の協賛社「ニチレイ」の支援継続性からも影響を受けるが、飛込また実施中のシンクロへの拡大整備も考慮する。

- (2) 日本水泳連盟・各専門委員会からの各県担当者への文書については、同じ文書を各県水連事務局にも送付して欲しい。日水連専門委員会と県水連担当委員長とのやり取りが把握できないため。

各県水連会長・理事長宛に送付するのが第一の本筋である。ルール遵守を再度確立徹底していきたい。

- (3)「地域会議」においては、「全国評議員会」と重複する資料は省いても良いのではな

いか。意見交換の時間を長くしたい。

地域会議のほとんどの資料は評議員会と重複していることは承知済みである。地域会議の目的は、加盟団体から1名だけ出席される評議員会の内容伝達をさらに補充して、なるべく多くの地域加盟団体の方々と直に情報交流し、相互の理解を深めることにある。今後もさらに目的達成のためのより良い方法を考慮していきたい。

- (4)「日本スポーツマスターズ大会」について、将来像・方向性等について、日水連としての考えを具体的に伺いたい。

平成20年度から大会要項を次の通り改変する。

大分国体から30才以上が外れるため、30 - 34才部門を増設する。

その結果7区分となるため、リレーは30歳から2区分ごととし、最高年齢区分は3区分が一緒になる。

競技はすべてタイムレース決勝とする。

今後、優秀団体表彰のルールを見直し確立する。

将来性・方向性：全国からの参加を早期に実現して名実ともに都道府県対抗を確立し、30才以上シニア部門の競技指向大会として充実させる。

- (5)今年度より競技者登録及び大会エントリーは、すべてWeb-SWMSYSということ

であったが、日本選手権やJOのエントリーをWin版SWMSYSで行ったのは何故か。また、今後の予定・方針はどうなるのか。

新競技者登録システムWeb-SWMSYSは、2007年度より使用開始をした。大会エントリーについては、競技者登録をした後にその登録データを流用する。従って競技者の基本登録の締切り時期が5月末で、年度当初に開催される日本選手権に間に合わないことや、Web-SWMSYSの大会エントリー機能の操作に慣れていないことを想定し、2007年度の全国大会エントリーは、従来のWin版SWMSYSを使用する旨を昨年より通達していた。

現在では、80%以上の加盟団体がWeb-SWMSYS大会エントリーを使用している。さらに普及活動を進め、2008年度の全国大会エントリーは全てWeb-SWMSYSの使用に徹底努力していく方向である。

- (6)「国体改革」について、大分国体で実施された後の見直し等、今後のさらなる方向性について見直しはどうか。

大分国体は2008改革であり、さらに5年後の2013改革において40競技を見直す予定である。今回参加人数の15%削減を実施したがひずみが出ているので適正規模に見直す。また、毎年実施競技と隔年実施競技に分類し、待機している競技(女子レスリング、女子水球、シンクロ種目増など)に対して実施機会を与えることを検討していく計画である。

- (7)国体参加標準記録のレベルが高過ぎて参加できない。また、大分国体のタイムスケジュールを早く公表して欲しい。参加県選手団の旅程計画に影響するため。

会議資料で説明したように、標準記録の算出値は適正に修正している上、無条件出場枠も規定してあるのでご理解願いたい。タイムスケジュールについては、見通しが立ち次第試算して情報連絡を配慮したい。

- (8)種々情報が回っているが、実業団大会の今後についてはどうなるのか。

社会人選手権的な大会へ改革を検討したが、現在のところはまだ問題があり、当面現状の大会を継続する予定である。ただし、事業所対抗、参加資格などのルールが守られていない面が課題であり、今後大会規則の遵守を徹底させることに配慮していきたい。

5. 四国地域(H19-11-11 愛媛県松山市)；[林会長、佐野副会長専務、青木副会長]

- (1)スポーツマスターズについて、平成20年度は高知県での開催であり、改善策(タイム

決勝、65歳以上の参加要望、リレー種目の区分方法など)を知らせて欲しい。

前項(7)に記述していることを説明した。競技指向の大会としているため、高年齢区分は現状の

64才までとし、それ以上の年齢区分は増設しない。

- (2) 上級指導者資格のマスター称号資格保有者は、高齢化してきている現状にある。

今後の育成、資格取得方法について教示願いたい。

マスター称号は日体協資格で推薦認定制度である。日水連通達・平成18年9月28日付け文書「公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者マスターの推薦について」を参照願いたい。不明であれば、日水連・地域指導者委員会に問い合わせください。

- (3) プール水道料金問題についての提言

「現在のプールの水道料金は、営業用料金区分が適用されており高額な費用になっている。これを風呂用料金区分に適用変更されれば(下水道料金も含めて)、水泳普及に大きく影響する。国民の健康志向目的から、この運動を全国的に展開し実現を目指したいので協力をお願いしたい。最初の発信を高知県から行う予定である。」

日水連として、如何に対処するか今後検討していきたい。

6. 中国地域(H19-11-17 山口県山口市);[林会長、佐野副会長専務、青木副会長]

- (1) 日本実業団大会と日本スポーツマスターズ大会の見通しを説明願いたい。

日本実業団大会については、国体の30歳部門廃止を契機に、社会人のチャンピオンシップ大会への移行およびマスターズ大会あるいは日本スポーツマスターズ大会との連携を前提に検討を進めているが、まだ環境的に整わない面もあるため、当面現状のスタイルを継続する方向である。

ただし、日本実業団大会の基本ルールである事業所対抗が実質的に守られていないエントリーが多く、またそれらのチェックが機能していない現状であるため、今後ルール遵守を強力に促して行きたい。また、実業団の定義を明確にして、ルール違反にはペナルティーを科していくこととする。

日本スポーツマスターズ大会の今後については、前述4.(4)と同様の説明を行ったので参照願いたい。

- (2) 国体改革における監督の資格条件については、ブロック大会にも適用されるのか？

適用される。ブロック大会の監督にも、この資格保有は必須条件となる。

- (3) 基礎指導員は、条件資格の対象となるのか？

基礎指導員は、日水連独自の資格であり、日体協資格ではないので対象外である。これに放送大学の共通講座を受講することにより、日体協資格の取得ができる。

- (4) 地域スポーツ指導者更新登録者の名簿が個人情報の問題で配布されなくなり、加盟団体では把握できず登録管理に大変不便をきたしている。県体協で名簿閲覧を実施しているが、善処方お願いしたい。

後日、担当委員会と相談していきたい。

その後、担当委員会の実情を調査したところ、日水連では、日体協から得られた名簿を各加盟団体の担当委員長に、個人情報守秘義務の手続きをした上で配布しているので確認願いたい。今後は加盟団体の理事長経由担当委員長に送付することとしたい。

7. 関東地域(H19-11-18 東京都千代田区);[林会長、佐野副会長専務、青木副会長]

(1) 中学校体育連盟水泳専門部の登録について、

昨年、中学校体育連盟水泳専門部と登録について下記の内容で合意している。

中体連主催大会のみ無償登録で参加ができる。

(具体的な登録方法は大会のリザルトデータを流用し、Web - SWMSYS に取り込む。リザルトデータを取り込むに当たり、各加盟団体情報システム担当者が中体連の方々と協力し英文字を含んだ団体登録番号を割り振り、事前登録をし Web - SWMSYS に登録しておく。Web - SWMSYS では英文字を含んだ団体番号は無償扱いとなる)

中体連主催大会で泳いだ記録は、正式記録として日水連が責任管理する。

(ランキング対象にもなる。中体連主催以外の大会に中学校として出場する場合は、通常の登録が必要になる)

(2) Web 処理のサーバー増設について

今年4月から Web - SWMSYS を用いて登録/エントリーを開始したが、当初(4月～6月)は、システムの不具合が多発し多大な迷惑をおかけ致しました。改めてお詫びを申し上げます。特に不具合の一つに、登録/エントリーが集中すると処理時間が長くなり、ストレス感が大きい時期がありました。それもソフトバグの解消とともに各種処理においてストレスのかからない状況になっております。

サーバーの増設については、今後の使用状況等を考慮して対応していく。

(3) 関東ブロック合宿からのジュニア国際大会派遣について

ジュニア国際大会代表の選定については、ブロックに一任しているのが現状である。選考方法についてはブロックで決めていただき、推薦された代表については、日水連で承認するシステムである。

参考までに、強化委員会において、現在の西東交互のニュージーランド遠征は、今年度をもって終了し、来年度からは毎年全国的にジュニア代表を選定していただき、シンガポール遠征とすることを策定中である。

(4) スポーツマスターズ大会について

シニア層の国体版(競技指向年令別マスターズ)として方向付けをしていく。日本スポーツマスターズ大会の今後については、前述 4.(4)と同様の内容であるので参照願いたい。

(5) 競技役員の登録および活動に関する制限について

日水連としての制限は原則として無い。資格は「日本水泳連盟公認競技役員」である。ただし、他の都道府県からの「一本釣り」が問題になることがあるので、モラルをもって活動をしていただきたい。必要に応じてブロック内で申し合わせをお願いいたします。

8. 近畿地域(H19-12-01 滋賀県大津市);[林会長、佐野副会長専務、青木副会長]

(1) 日本実業団大会および日本スポーツマスターズ大会の将来方向について

前述 6.(1)に関する内容と同一である。

- (2) 日本スポーツマスターズ大会の権威付けを配慮していくことが重要ではないか。
ご意見として受け止め、今後、日体協とも意見交換し改善に努力していく。

9. 九州地域(H19-12-02 沖縄県那覇市); [林会長、佐野副会長専務、青木副会長]

(1) インターハイ開催地を経験した結果からの要望

大会スケジュールをもっと早く決定して欲しい。また、直前での現場における種々の変更、競技順序の変更(ex. 400 個人メ)などは極力避けて欲しい。現場での対応が大変な作業になる。

高体連との課題にもなるが、ブロック大会を早めて欲しい。

いずれも今後協力して、改善に努力して行きたい。

- (2) 小学生研修合宿について、小学校への働きかけの必要性はないか。地域では大変関心を持っている。
具体的な実施計画を教えて欲しい。

熊本県では、ジュニア対策事業として小学4年～中学1年を対象に、毎年計 40 人の研修合宿を実施している。コーチはスイミングクラブの協力があり、年々充実してきている。子供たちに人間教育～しつけの教育を第一に取り上げており、練習メニューは SC コーチが組み、大変評判がよい。

小学校3年生からを対象として、現在具体的に内容を策定中である。 決定次第、評議員会などで提案していくとともに、加盟団体からのご協力をお願いしたい。

以上(文責 佐野)

13. 登録関係

(寄附行為 第4条 - 7)

1. 競技者・競技役員登録数

2008年3月31日現在

種別 加盟団体	競技者	団体	会員	競技役員		
				上級	一種	二種
1 北海道	3,188	215	0	1	6	142
2 青森	1,014	54	0	0	0	24
3 岩手	977	48	0	3	14	44
4 宮城	1,641	97	0	0	17	81
5 秋田	579	47	0	0	6	44
6 山形	1,538	60	0	0	0	1
7 福島	1,792	86	0	8	18	56
8 茨城	2,499	124	8	0	3	72
9 栃木	1,503	58	0	1	9	28
10 群馬	1,437	80	7	0	0	18
11 埼玉	4,517	171	0	2	16	33
12 千葉	4,155	182	1	4	10	49
13 東京	12,406	601	1	0	29	329
14 神奈川	6,972	314	13	17	40	88
15 山梨	856	36	0	0	1	11
16 長野	1,564	110	6	0	11	14
17 新潟	1,058	95	0	3	11	76
18 富山	847	51	1	1	44	61
19 石川	1,088	67	0	1	8	38
20 福井	457	35	0	0	1	14
21 静岡	4,023	218	13	0	30	74
22 愛知	7,134	310	15	0	8	138
23 三重	1,776	100	1	0	7	15
24 岐阜	2,004	103	0	0	10	40
25 滋賀	905	42	4	0	11	17
26 京都	2,003	93	0	0	4	33
27 大阪	6,697	317	0	1	26	59

種別 加盟団体	競技者	団体	会員	競技役員		
				上級	一種	二種
28 兵庫	5,509	296	6	5	27	42
29 奈良	1,188	52	0	1	1	2
30 和歌山	911	51	0	0	24	3
31 鳥取	979	70	1	0	1	8
32 島根	751	69	0	0	12	32
33 岡山	1,418	83	2	1	18	65
34 広島	2,210	130	29	3	9	61
35 山口	1,401	80	0	1	9	44
36 香川	1,093	76	0	2	12	9
37 徳島	544	32	3	0	0	0
38 愛媛	1,530	129	0	0	7	14
39 高知	978	55	0	0	2	9
40 福岡	3,060	133	0	0	8	32
41 佐賀	905	39	0	1	6	118
42 長崎	1,514	72	0	0	14	29
43 熊本	1,364	81	0	0	7	78
44 大分	918	63	0	0	10	31
45 宮崎	750	49	0	2	10	5
46 鹿児島	1,492	78	0	0	49	62
47 沖縄	1,120	63	0	0	1	2
学生会員会	関東	3,802	125			
	中部	905	38			
	関西	1,280	57			
	中四国	567	34			
九州	706	40				
合計	111,525	5,709	111	58	567	2,245

2.各種指導員登録数

2008年3月31日現在

	(財)日本体育協会公認指導者資格						日本水泳連盟公認
	指導員	上級指導員	コーチ	上級コーチ	教師	上級教師	基礎水泳指導員
北海道	1,293	48	141	14	125	13	46
青森	110	29	3	8	0	0	0
岩手	157	32	19	2	4	1	0
宮城	184	41	17	6	22	5	12
秋田	124	18	9	6	5	1	0
山形	144	17	12	13	19	11	18
福島	270	56	25	2	17	2	0
茨城	280	30	51	17	43	11	21
栃木	194	16	27	9	25	4	23
群馬	229	9	43	15	40	7	31
埼玉	770	59	124	45	153	30	54
千葉	318	16	106	24	121	13	10
東京	2,207	345	525	113	282	99	119
神奈川	747	51	172	45	183	36	57
山梨	80	7	10	9	11	2	8
長野	102	4	29	4	35	9	0
新潟	477	76	33	9	25	4	7
富山	204	35	38	13	18	9	24
石川	113	19	16	8	16	3	8
福井	86	6	9	3	12	1	0
静岡	542	30	53	23	53	13	30
愛知	631	53	79	34	128	44	35
三重	290	19	45	11	29	5	13
岐阜	283	4	17	7	35	3	0
滋賀	179	14	20	9	17	4	2
京都	205	28	21	13	28	11	31
大阪	304	50	94	44	146	20	23
兵庫	473	71	53	25	68	14	20
奈良	122	10	11	8	28	3	53
和歌山	53	25	6	2	17	3	0
鳥取	61	16	9	7	9	0	11
島根	109	15	29	8	21	10	10
岡山	177	12	26	14	27	3	23
広島	265	34	45	10	26	10	18
山口	187	19	13	6	8	11	10
香川	86	29	16	7	7	6	0
徳島	41	16	7	8	4	3	0
愛媛	142	60	15	3	14	4	0
高知	71	27	7	3	4	1	0
福岡	252	22	61	26	58	18	22
佐賀	44	4	7	2	3	3	0
長崎	123	21	12	6	12	5	0
熊本	213	46	15	3	9	1	5
大分	112	6	16	4	12	2	23
宮崎	90	17	8	3	10	2	0
鹿児島	147	42	8	4	15	4	0
沖縄	130	18	8	3	13	4	16
合計	13,421	1,622	2,110	658	1,957	468	783

14. プール公認・認定

(寄附行為 第4条 - 8)

50m (新1・再36)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
50m	5648	別府市営青山プール	大分県	2012/04/30	RC	外
50m	再5547	国分市民プール	鹿児島	2012/03/31	RC	外
50m	再5538	十和田市民プール	青森県	2011/12/31	PS	外
50m	再5545	釜石市営プール	岩手県	2012/05/31	RC	外
50m	再5481	福島市中央市民プール	福島県	2012/03/31	RC	外
50m	再5098	千葉市高洲市民プール	千葉県	2012/05/31	RC	外
50m	再5092	船橋市運動公園プール	千葉県	2012/08/31	RC	外
50m	再5631	茨城県笠松運動公園水泳プール国際A級	茨城県	2012/03/31	RC	内
50m	再5632	茨城県笠松運動公園屋内水泳プール(サブ25m併用)	茨城県	2012/03/31	RC	内
50m	再5285	日本体育大学健志台プール	神奈川県	2012/06/30	RC	内
50m	再5609	一関市民水泳プール	岩手県	2012/05/31	FRP	内
50m	再5097	周南市水泳場	山口県	2012/05/31	RC	外
50m	再5408	二宮町営山西プール	神奈川県	2012/07/31	SS	外
50m	再5046	新潟市西海岸公園市営プール	新潟県	2012/03/31	RC	外
50m	再5608	相模原市立総合水泳場(国際B認定)	神奈川県	2012/05/31	RC	内
50m	再5550	未広屋外水泳プール	石川県	2012/07/31	PC	外
50m	再5100	東京学芸大学50mプール	東京都	2012/07/31	RC	外
50m	再5484	東京工科大学プール	東京都	2012/07/31	SS	外
50m	再1081C	枕崎市営プール	鹿児島県	2012/07/31	RC	外
50m	再5549	スパッシュランドしろいし	宮城県	2012/06/30	RC	内
50m	再5132	(財)やしる会館プール	兵庫県	2012/07/31	SS	内
50m	再5483	福田公園水泳プール	岡山県	2012/07/31	SS	外
50m	再5552	栃木県総合運動公園水泳場	栃木県	2012/08/31	S	外
50m	再1088	湊川相野学園50周年記念プール	兵庫県	2012/09/30	RC	外
50m	再5540	早稲田大学所沢校地屋内プール(併用プール)	埼玉県	2012/01/31	RC	内
50m	再1185	和歌山県秋葉山公園県民水泳場	和歌山県	2011/07/31	RC	外
50m	再5487	文化記念プール	福岡県	2012/09/30	RC	外
50m	再5488	福島県立医科大学プール	福島県	2013/03/31	RC	内
50m	再5288	中央大学屋外プール	東京都	2013/03/31	RC	外
50m	再5134	荒尾運動公園市民プール	熊本県	2013/01/31	rc	外
50m	再5634	岡山市東山プール	岡山県	2013/05/31	FRP	外
50m	再1120	山鹿市民プール	熊本県	2013/02/28	rc	外
50m	再5137	鹿屋中央公園プール	鹿児島	2013/05/31	RC	外
50m	再5629	西京極総合運動公園プール	京都府	2012/03/31	RC	内
50m	再5615	横浜国際プール	神奈川県	2013/03/31	RC	内
50m	再5616	横浜国際プール(サブプール)	神奈川県	2013/03/31	RC	内

25m (新2・再48)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
25m	2879	かつらぎ公園町民プール	和歌山県	2012/04/30	FRP	外
25m	2880	大宮教育センター記念プール	埼玉県	2012/11/30	RC	内
25m	再2675	国分市民プール	鹿児島	2012/03/31	SS	内
25m	再2365	コナミススポーツクラブ所沢	埼玉県	2012/04/30	SS	内
25m	再2361	兵庫県立東はりま青少年館室内温水プール	兵庫県	2012/03/31	RC	内
25m	再2547	西和賀町湯本屋内温泉プール	岩手県	2012/04/30	SS	内
25m	再2853	茨城県笠松運動公園屋内水泳プール(併用)	茨城県	2012/03/31	RC	内
25m	再2854	西海岸公園市営プール屋内プール	新潟県	2012/04/30	RC	内
25m	再2788	佐伯市総合運動公園内温水プール	大分	2012/05/31	SS	内
25m	再2477	学校法人佐藤栄学園 花咲徳栄高等学校プール	埼玉県	2010/03/31	S	内
25m	再2680	釧路市鳥取温水プール	北海道	2012/05/31	RC	内
25m	再2787	相模原市立総合水泳場(サブプール)	神奈川県	2012/05/31	RC	内
25m	再2786	相模原市立総合水泳場(メイン 併用)	神奈川県	2012/05/31	RC	内

25m	再 2795	武蔵大学プール	東京都	2012/07/31	SS	内
25m	再 2692	立川市柴崎市民体育館室内水泳場	東京都	2012/12/31	SS	内
25m	再 2375	コナミススポーツジュニアスクール西葛西	東京都	2012/11/30	SS	内
25m	再 2791	新潟県佐渡スポーツハウス温水プール	新潟県	2012/05/31	PC	内
25m	再 2802	塩尻スイミングスクール	長野県	2012/12/31	rc	内
25m	再 2686	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール	神奈川県	2012/08/31	RC	内
25m	再 2797	東村山市民スポーツセンター屋内プール	東京都	2012/08/31	SS	内
25m	再 2684	名古屋スイミングクラブ	愛知県	2012/07/31	RC	内
25m	再 2372	木曽川スイミングスクール	愛知県	2012/09/30	SS	内
25m	再 2801	杉並区上井草総合運動場プール	東京都	2012/11/30	SS	内
25m	再 2796	水俣市立総合体育館温水プール	熊本県	2012/08/31	RC	内
25m	再 2685	栃木県総合運動公園水泳場	栃木県	2012/08/31	S	外
25m	再 2370	財団法人なめしスイミングセンター	長崎県	2012/08/31	AL	内
25m	再 2688	福島スイミングスクールほばら	福島県	2012/09/30	RC	内
25m	再 2560	古河あかやまスイミングスクールプール	茨城県	2012/10/31	RC	内
25m	再 2371	長岡スイミング&ヘルス	新潟県	2012/09/30	AL	内
25m	再 2676	早稲田大学所沢校地屋内プール(併用プール)	埼玉県	2012/01/31	RC	内
25m	再 2690	愛知産業大学三河高等学校プール	愛知県	2012/11/30	RC	内
25m	再 2689	中標津町温水プール	北海道	2012/10/31	RC	内
25m	再 2551	佐世保市温水プール	長崎県	2012/06/30	SS	内
25m	再 2691	上板町室内温水プール	徳島県	2012/12/31	FRP	内
25m	再 2185	青森ヤクルトスイミングスクール	青森県	2012/10/31	RC	内
25m	再 2564	埼玉スウィン記念プール	埼玉県	2013/01/31	RC	内
25m	再 2800	横浜市スポーツ医科学センタープール	神奈川県	2012/11/30	FRP	内
25m	再 2384	青森市民室内プール	青森県	2012/12/31	SS	内
25m	再 2562	広島修道大学プール	広島県	2012/12/31	rc	内
25m	再 2859	広島県立びんご運動公園コミュニティープール	広島県	2013/03/31	FRP	内
25m	再 2799	舞洲障害者スポーツセンタープール	大阪府	2012/11/30	rc	内
25m	再 2385	ヤクルト弘前スイミングスクール	青森県	2013/01/31	al	内
25m	再 2542	JSSジャンボスイミングスクール	新潟県	2012/01/31	al	内
25m	再 2168	南砺市城端温水プール	富山県	2012/04/30	SS	内
25m	再 2376	ダッシュ・前橋スイミングクラブ	群馬県	2012/11/30	SS	内
25m	再 2553	前橋スイミングスクール前橋校	群馬県	2012/06/30	RC	内
25m	再 2386	富山市東富山温水プール	富山県	2013/01/31	RC	内
25m	再 2851	西京極総合運動公園プール 25mサブプール	京都府	2012/03/31	RC	内
25m	再 2850	西京極総合運動公園プール-国際併用	京都府	2012/03/31	RC	内
25m	再 2805	横浜国際プール(サブプール) 縦A B面	神奈川県	2013/03/31	RC	内

飛込(新1・再11)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
飛込	飛 75	別府市営青山プール	大分県	2012/04/30	RC	外
飛込	再 飛 71	茨城県笠松運動公園屋内プール	茨城県	2012/03/31	RC	内
飛込	再 飛 16	日本体育大学健志台飛込プール	神奈川県	2012/06/30	RC	外
飛込	再 飛 31	米子市営東山水泳場飛込プール	鳥取県	2011/09/30	RC	外
飛込	再 飛 62	相模原市立総合水泳場(B級認定)	神奈川県	2012/05/31	RC	内
飛込	再 飛 52	未広屋外飛込プール	石川県	2012/07/31	PC	外
飛込	再 飛 15	滋賀県立彦根総合運動場スイミングセンター飛込プール	滋賀県	2012/07/31	RC	外
飛込	再 飛 50	早稲田大学所沢校地飛込プール	埼玉県	2012/01/31	RC	外
飛込	再 飛 17	中央大学飛込プール	東京都	2013/03/31	RC	外
飛込	再 飛 20	栃木県総合運動公園水泳場	栃木県	2013/01/31	rc	外
飛込	再 飛 69	西京極総合運動公園プール	京都府	2012/03/31	RC	内
飛込	再 飛 63	横浜国際プール	神奈川県	2013/03/31	RC	内

標準(新0・再1)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
25m	再 標0184	(学)津田学園中学屋内プール	三重県	2012/07/31	RC	内

15. 諸 会 議 ・ 行 事

(寄附行為第4条 - 14)

1. 専門委員会・特別委員会

評議員会	3回	日本泳法委員会	10回
理事会	6回	オープンウォータースイミング委員会	2回
常務理事会	12回	広報委員会	12回
委員長会議	11回	施設用具委員会	2回
財務委員会	回	情報システム委員会	1回
競泳委員会	10回	総務委員会	5回
飛込委員会	12回	生涯スポーツ	3回
水球委員会	11回	特別委員会	
シンクロ委員会	4回	スポーツ環境委員会	2回
競技委員会	10回	倫理委員会	1回
学生委員会	1回	アンチ・ドーピング委員会	1回
ジュニア委員会	12回	北京特別強化委員会	6回
地域指導者委員会	10回		
競技力向上コーチ委員会	10回		
水泳教師委員会	11回		

2. その他

日本選手権競泳実行委員会	5回	アジアエイジ・水球ワールドリーグ打合せ	1回
日本選手権シンクロ実行委員会	4回	ジュニア諮問会議	2回
日本選手権シンクロ準備会	1回	オフィシャルサプライヤー会議	3回
世界競泳2007実行委員会	5回	泳力検定担当者会議	1回
世界競泳2007事務局会議	7回		
世界競泳2007総務担当打合せ	1回		

3. コーチ会議

競泳 強化コーチ会議	10/6	国立スポーツ科学センター	
飛込 強化コーチ会議	8回		

4. 学生

全国代表者会議	3回	総務委員会	3回
---------	----	-------	----

5. その他

全国加盟団体長会議	9/30	秋田ビューホテル	
平成19年度優秀選手表彰式	11/24	新高輪プリンスホテル	

16. 発 行 物

(寄附行為第4条 - 13)

月刊水泳369～380号	各号6500部
主要競技会要項	1,000
公認競技役員の心得	5,000
危機管理マニュアル	500
水泳プールでの重大事故を防ぐ	2,500

17. 慶弔関係

(敬称略)

(慶)

やまもと 山本	ひろし 浩	(財)日本水泳連盟 常務理事	藍 綬 褒 章 (競技団体推薦)	平成19年4月29日
やまなか 山中	しゅんぞう 俊三	兵庫県水泳連盟 名誉会長	旭 日 双 光 章 (地方自治体推薦)	平成19年4月29日
きはら 木原	ゆうじ 雄治	熊本県水泳協会 会長	瑞 宝 小 綬 章 (地方自治体推薦)	平成19年4月29日
あんどう 安藤	いさむ 勇	千葉県水泳連盟 会長	銚子市名誉市民 (地方自治体推薦)	平成19年6月2日
きのした 木下	あやこ 綾子	北海道水泳連盟 会長	文部科学大臣 生涯スポーツ功労者表彰 (地方自治体推薦)	平成19年10月8日
みずの 水野	のりかき 功明	広島県水泳連盟 専務理事	文部科学大臣 生涯スポーツ功労者表彰 (地方自治体推薦)	平成19年10月8日
まぶち 馬淵	かのこ かの子	兵庫県水泳連盟 顧問	文部科学大臣 生涯スポーツ功労者表彰 (地方自治体推薦)	平成19年10月8日
とみた 富田	じゅうじろう 重次郎	青森県水泳連盟 会長	旭 日 中 綬 章 (地方自治体推薦)	平成19年11月3日
きはら 木原	みちこ 光知子	(財)日本水泳連盟 理事(常務理事待遇)	旭 日 小 綬 章	平成19年11月13日
むらた 村田	いちのり 一典	石川県水泳協会 副会長	瑞 宝 双 光 章 (地方自治体推薦)	平成19年11月3日

(弔)

逝去月日(享年)

みうら 三浦	こういち 幸一	(財)日本水泳連盟 大阪水泳協会	参 与 名誉会長	平成19年4月18日 (68)歳
わだ 和田	かおる 馨	岡山県水泳連盟	会 賓	平成19年1月23日 (91)歳
もりや 守家	まさよし 雅由	岡山県水泳連盟	会 賓	平成19年3月4日 (81)歳
まるこ 丸子	ゆきお 由喜夫	山形県水泳連盟	常任理事	平成19年3月17日 (45)歳
ごしま 五島	しげとみ 繁富	愛知水泳連盟	参 与	平成19年4月7日 (77)歳
おかた 岡田	じゅんこ 順子	富山県水泳連盟	理 事	平成19年5月4日 (61)歳

きくの たかお 菊野 高雄	宮 崎 県 水 泳 連 盟	前会長	平成19年5月6日 (77)歳
こばやし とくたろう 小林 徳太郎	日 本 水 泳 連 盟	顧問 (元副会長)	平成19年10月13日 (76)歳
きはら みちこ 木原 光知子	日 本 水 泳 連 盟 日 本 マ ス タ ー ズ 水 泳 協 会	理事(常務理事待遇) 理事	平成19年10月18日 (59)歳
たなか まさし 田中 昌	秋 田 県 水 泳 連 盟	名誉会長	平成19年7月16日 (90)歳
みぞぶち ひろし 溝渕 博	香 川 県 水 泳 協 会	名誉会長	平成19年8月20日 (78)歳
わきもと みつお 脇本 三雄	神 奈 川 県 水 泳 連 盟	参与	平成19年11月7日 (76)歳
もりや ゆういち 森家 雄一	NPO 法 人 岡 山 県 水 泳 連 盟	会賓	平成19年12月4日 (80)歳